



**2006年度 年次報告・決算報告**  
**2007年度 年次計画・収支予算**

**Swapla  
NEE**

## 目次

|                               |    |
|-------------------------------|----|
| はじめに                          | 3  |
| 2006 年度の各活動の概観と 2007 年度にめざすもの | 4  |
| 海外プロジェクト一覧                    | 6  |
| 2006 年度活動報告および 2007 年度活動計画    | 8  |
| 2006 年度決算および 2007 年度収支予算      | 32 |
| 2007 年度役員一覧                   | 38 |
| 主な掲載記事                        | 39 |
| シャプラニール用語集                    | 40 |

# はじめに

今年のような西暦の末尾が7の年、シャプラニールでは必ず大きな出来事があり、それに伴って大きな方針転換を行ってきました。

最初の1977年、私たちの最初の活動地バングラデシュのポイラ村で、二人の駐在員が強盗団に襲われ、この村で日本人ボランティアが住み込んで行ってきた活動が継続できなくなりました。80年からは、貧しい村人が組織するショミティと呼ばれる相互扶助グループをバングラデシュ人ワーカーが支援育成する、そのショミティの連合体を地域ごとに組織して一層の実力を付ける、という方針に変わりました。

次の1987年に開催されたシャプラニールの「鎌倉合宿」では、バングラデシュで支援していたショミティの連合体を解体し、シャプラニールの直轄にすることが決まり実行されました。一般的には現地の住民組織を尊重・支援するのが外部者であるNGOの役割です。ショミティ連合体の公正さや効率に問題があったとはいえ、この変更は一般の流れに逆行する深刻なものでした。なおこの鎌倉合宿では会員制度を確立し、会則と役員会を作ることも決まりました。

そして三回目の1997年の末、バングラデシュ全国6ヶ所の農村部の事務所の百名ほどいたバングラデシュ人ワーカーが、雇用条件改善などを求めて三ヶ月以上に渡る長期ストライキに入りました。この解決に向けたプロセスの中で、「当事者による問題解決」という考え方が徐々に確立しました。現地でのプロジェクトの実施やそれに伴う管理的業務は現地のNGOが行い、外国のNGOであるシャプラニールは、現地のNGOや住民組織をパートナーとして支援する、そして日本を変革することに一層注力する、と認識したのです。

97年から06年度までの10年間は、この新しい方向性に従って活動を整理するために費やされたといえると思います。これまでの農村開発や新たに開始したストリートチルドレンなどの事業は、すべて現地のNGOとのパートナーシップを通じた支援になりました。

パートナーシップという協力形態の中での私たちに新たに求められるのは、南アジアの社会経済状況をよく理解し、取り残され権利を奪われた状態にいる人々を的確に把握すること、こうした問題に取り組む現地のNGOなどを長期的に支援するために、支援する問題/分野に関する専門知識を身に付けること、そしてパートナー団体の組織運営、ガバナンスについても、適正な形で支援していくことです。

また日本国内でも、私たちが当事者として日本を変えていく活動が一層重要になりました。ステナイ生活やジュートのマイバッグなど皆さんが気軽に実行できる提案に加え、制度や政策の変更を求める提言活動も積極的に進めています。来年7月に日本政府はG8サミットを北海道の洞爺湖で開催するので、それに向けてNGOが提言することを目的に、様々なNGOが参加するフォーラムが結成されましたが、シャプラニールはこれにも積極的に関わっています。

こうした積み上げを一層発展させるために、今年度から五年間のシャプラニールの方向性を記した中期方針を、中田評議員（当時）をリーダーとする委員会が作成し、事務局や理事会、評議員会での検討を経て、今回の総会にて承認されました。

ところで2001年にNPO法人化してから六年間、シャプラニールの代表理事を務めさせて頂いた私は、定款に従ってこの総会で退任し、中田豊一新代表理事に交代します。今後、シャプラニールとは理事の一員として関わります。また、NGOのネットワーク団体である国際協力NGOセンター（JANIC）とG8サミットNGOフォーラムなどでNGO活動を続けるつもりです。

2007年にシャプラニールできっと起きるはずの大きな出来事と方針転換は、中田新代表理事がしっかり対応してくれるものと確信しています。今後とも皆様のご支援をよろしくお願いいたします。

2007年6月 代表理事 大橋正明

# 2006 年度概観と 2007 年度にめざすもの

---

## 2006 年度概観

### 1. バングラデシュ

- ・家事使用人として働く少女の支援活動を新規で開始。
- ・村人の生活の変化と今後の農村調査のあり方を考察するための調査を実施。

### 2. ネパール

- ・国王が実権を失い、これまで人々を悩ませてきたマオイスト（毛沢東主義者）が加わって暫定政権が生まれるなど、治安に関して大きな動きがあった。
- ・8年間に渡って活動してきたオカルドウンガ郡での住民組織の自立支援活動が完了。

### 3. インド

- ・家政婦として働く女性支援、子どもたちによる環境学習という二つの事業が始まった。

### 4. クラフトリンク

- ・数多くの市民の協力を得て全国でフェアトレードキャラバンを実施し、フェアトレードの意義を伝えた。
- ・マイバッグのブームからジュートのエコバッグが好評となり新規購買者が増加した。

### 5. 国内・組織

- ・ステナイ生活への新規の支援者が1,000名を超え、寄付額も前年比230%となった。
- ・これからの地域展開のあり方について、タスクフォースでの話し合いが持たれ、理事会に答申された。
- ・「シャプラニール」と「ステナイ生活」の商標申請を行った。

## 2007 年度にめざすもの

### 1. バングラデシュ

- ・経済発展や行政・NGOの支援から「取り残されている人々」への取り組みを質量共に強化する。
- ・農村における新規の活動の具体的計画策定を進める。

### 2. ネパール

- ・貧困層に配慮した地域防災活動を新規で開始する。
- ・女性自身がエンパワーされることを目指した実験的な活動に取り組む。

### 3. インド

- ・家政婦として働く女性への支援として、活動拠点を中心に本格化させる。

### 4. クラフトリンク

- ・フェアトレードの意義を明確にし、積極的な情報発信に努める。
- ・トラ保護キャンペーンに賛同した形で阪神タイガースのロゴ入りバッグの販売を行う。

### 5. 国内・組織

- ・ステナイ生活を中心として企業や団体との協働をより一層推し進める。
- ・35周年記念事業に取り組む。
- ・認定NPO法人を申請する。

# 各活動の状況

---

## ■海外活動

シャプラニールはこれまで一貫して「先進国である日本から、経済的に貧しい発展途上国に対して一方的に援助を与える」という考え方を忌避し、「自ら生活をよくしようと努力する人々への協力」というスタイルを長年にわたって追求してきた。21世紀に入り、先進国と途上国といった枠組みを超えた市民運動としてのさらなる深化を目指し、「協力から共生へ」というキャッチフレーズを掲げて新たな一步を踏み出し始めたシャプラニールにとって、2006年度は海外活動における大きな節目の年となった。インドにおける活動を正式に開始したことがそれにあたるが、その取り組みの内容がいずれも現地の人々が中心となり、その創意工夫を最大限活かす形をとっていることに、面目躍如たるものがあるといえよう。

また年間を通して「取り残された人々」への取り組みの強化に努めた。これは2000年に策定された「海外活動に関する行動指針」で活動の対象領域として真っ先に掲げられている「最も貧しく、虐げられた人々」と一義的には同じ意味となり、実際の活動も先行しているが、単純に経済的な発展から取り残された人々だけを示すものではない。今後はそうした社会的に光の当たりにくい場所にいる、あるいはそうした状態にある人々や課題へ近づくための一層の努力が求められていくだろう。

なお、2004年度からはすべての活動が現地パートナー団体との協働で行われている。当事者主体と言うシャプラニールの活動原則を尊重し活動の継続性を担保していくために、それぞれの団体の組織運営（ガバナンス）についても適切な形で眼を向けていく必要がある。

## ■クラフトリンク

フェアトレードへの関心が高まる中、新聞や雑誌、テレビ、ラジオからの取材が増えており、2006年度も数多くの媒体でクラフトリンクが取り上げられた。その追い風に乗り遅れないように団体の存在感を高めていくための努力がいつそう必要となっている。ここ数年積極的にフェアトレードという表現を使っているが、その意義をより明確にし「シャプラニールのフェアトレード」を確立させていきたい。

また、生産者の生活向上という第一の目的を達成するため、販売額を伸ばし、より多くの仕入れにつなげていく。具体的には今実際に伸びているものを伸ばすという基本方針のもと、店舗への卸、マイバッグブームに乗って2006年度も好調であったジュートのバッグの大口注文やオリジナルプリントを施す特別注文に取り組むほか、根強い人気のノクシカタ小物の品揃えを増やしていく。

これまで同様、各手工芸品団体への継続的かつ生産者への過度な負担をかけない発注、現地にある素材や伝統を活かした製品作りを行うと同時に、自然環境や労働環境へも配慮していく。品質の向上にも努め、納得し繰り返し購入してもらえるような商品作りを心掛けていく。

## ■国内活動

これまでシャプラニールが主張してきた「私たち自身の生活を見直す」とこと、一般にブームとなっている「エコ」「ロハス」「フェアトレード」とが相俟って、「ステナイ生活」「ジュートレジバッグ」などが好調に推移した。また“エコ”をテーマとするさまざまなイベントに出展し、多くの人に会の活動を周知することができた。他方、これらに協力してくださった市民を会員など、継続的な支援者へとつなげていくことは今後の課題である。

地域でも、ボランティア活動の活性化とフェアトレードの推進のため「フェアトレード・キャラバン」を初めて実施し、多くの方に協力いただくと共に販売に貢献した。これら地域での活動を活発化させることは、ここ数年来の課題であるが有効な手立てが打ち出せてこなかったことから、今後の地域展開を考える上で一つの方向性を示してくれた。

今後の国内における活動の拡がりのために、分かりやすいメッセージと広報の工夫が必要である。シャプラニールは「市民による海外協力」を謳っているが、「市民による」とは何を意味するのか、参加しているという実感を持てる場をどう提供していくのか、これまで以上に熟考する時期に来ている。

# 海外プロジェクト一覧（2006年度）

## バングラデシュ

### マイメンシン県イショルゴンジ郡開発活動

成人識字などを経て貧困層の住民の組織化と基本的な生活向上が進んできたため、今後は地方行政と住民組織との連携にも力を入れていく。

●活動内容：グループ育成、マイクロクレジット、最貧困層への取り組み、寡婦への取り組み、少女グループ育成、村委員会、行政との連携、働く子どもたちへの取り組み、成人識字学級、児童教育、保健衛生知識の普及、ヘルスポランティア育成、トイレ・井戸設置、ヒ素汚染対策、伝統的助産婦育成、収入向上技術訓練、コミュニティ啓蒙キャンペーン

●裨益者数：6,998人

●パートナー：COLI

### ノルシンディ県ベラボー およびライブラ郡開発活動

社会的弱者に焦点を当てた包括的生活向上プログラムの実施。障がい者、少女グループ、働く子ども、最貧困層を対象にしたきめ細かい生活向上支援と、貧困地域であるチョール（中洲）では基礎となる識字教育及び児童教育プログラム（補習学級）を実施。

●活動内容：障がい者・働く子どもたち・最貧困層への取り組み、少女グループ育成、児童補習学級、成人識字学級

●裨益者数：15,120人

●パートナー：PAPRI

### 家事使用人として働く少女支援活動

首都ダッカで働く少女の家事使用人の状況を社会に知らしめると同時に、少女たちが自信と尊厳を取り戻し不当な労働条件や搾取といった状況を改善する。特に、コミュニティでの意識を高め少女の家事使用人の状況を向上させる仕組みを作ることと、少女らが当然受けるべき教育等の機会を確保しつつ問題解決の力をつけることを目的とする。

●活動内容：ノンフォーマル教育、性教育、職業訓練、コミュニティ連携、レクリエーション

●裨益者数：113人

●パートナー：Phulki

### マニクゴンジ県ギオール郡 ・ドウロトプール郡開発活動

他の NGO からの支援が届いていないコミュニティの中の最貧困層に目をむけ、グループだけでなく家族単位でも対応する。青少年によるグループは特に社会変革の担い手と捉え、グループ活動を推進すると同時にその中でも特に厳しい状況にある青少年には技術訓練などの活動を行い、家庭の中でも収入向上の一端を担えるようにする。また、行政や他の NGO との連携を強化すると同時にスタッフの能力育成にも力を入れる。高齢者の福祉にも注力し、保健および心のケア等のサービスを行う。

●活動内容：グループ育成、マイクロクレジット、少年少女グループ育成、最貧困層・高齢者への取り組み、児童教育、成人識字学級、コンピュータ研修、コミュニティ啓蒙キャンペーン、行政との連携、収入向上技術訓練、ヒ素汚染対策、小規模ビジネス支援、バザールの女性専用コーナー

●裨益者数：5,457人

●パートナー：STEP

### ストリートチルドレン支援活動

首都ダッカの路上で暮らしている、あるいは働いている子どもを搾取や虐待から保護し、自立への意識と能力の向上を目指す。

●活動内容：ドロップイン・センター兼シェルター、ストリートスクールの運営、コミュニティとの連携、ノンフォーマル教育、職業訓練、保健衛生知識の向上、子どもの権利研修、一般への啓蒙活動

●裨益者数：1,198人（2005年度実績）

●パートナー：Aparajeyo Bangladesh

### 寒波支援

極端に少ない雨量だった雨期とそれによる早魃を経て、北部を中心に襲った38年ぶりの寒波により高齢者や小さな子どもなど、今年1月前半だけで既に約150人の死者が出たため、特に貧困層に対して物資の配布などの緊急救援をガイバンダ県および通常の活動地域にて実施。

●裨益者数：1,562世帯

●パートナー：GUK・COLI・STEP・PAPRI

## ネパール

### オカルドゥンガ郡農村開発活動

2005年度まで7年間続いた活動のフォローアップの一年。これまでの活動を各グループがスムーズに行えるよう運営のサポート及びモニタリングを実施。

- 活動内容：組織育成、能力育成
- 裨益者数：2,856人（2005年度実績）
- パートナー：CSD

### カトマンズ低所得者層自立支援活動

都市部における貧困層を対象に、活動地を拡大しながら女性による協同組合の結成、グループメンバーの能力向上、収入向上活動の強化に取り組む。

- 活動内容：組織育成、グループ育成、能力育成、収入向上
- 裨益者数：150人
- パートナー：SOUP

### 働く子ども支援活動

都市部で、特にレストラン、家事使用人、公共交通機関関連等で働く子どもたちの（1）搾取と虐待を減らす（2）住環境を向上させる（3）精神的にも物理的にも安全な環境を創り出す（4）意識と基礎知識の向上を目指す。

- 活動内容：子どもの権利についての理解を深める、HIV/エイズ啓蒙、虐待防止、子どもクラブ、法律面でのサポート、移動クリニック、青空学級、ノンフォーマル教育、カウンセリング、奨学金
- 裨益者数：90人
- パートナー：CAPCRON

### 中西部平野地域洪水救援

2006年8月の大雨によってラプティ川が氾濫、9月中旬に収穫時期を迎えるはずだった稲が打撃を受けた。

- 活動内容：土地無し、もしくは土地を持っていてもごくわずかな土地しか所有していない世帯、カマイヤ（契約労働者）、ダリット（被差別民）、女性が世帯主である世帯、子どもや年寄りを抱える世帯に対して、（1）10日分の食料を含む物資配給の実施（2）女性、子ども、障がい者、病人を抱える家庭にはヘルスチェック及び治療を実施
- 裨益者数：（1）2VDC内102世帯（618人）+幼児を抱えた50世帯（2）500名へのヘルスチェック及び治療
- パートナー：CSDR

### ストリートチルドレン支援活動

都市部で暮らしている、ストリートチルドレンの自立および生活改善。

- 活動内容：シェルター（みんなの家）の運営、収入向上、ノンフォーマル教育、職業訓練
- 裨益者数：162人（2005年度来所実績）
- パートナー：JAFON

### 農地獲得運動への支援

土地無し農民の当事者による新たな土地改革法の法案作成支援。土地改革を進める政府へのアピールを強めること、住民の参加と理解を深め、運動自体を盛り上げるアドボカシー活動への支援。

- パートナー：CSRC

## インド

### 家政婦として働く女性への支援

様々な権利から排除され弱い立場に置かれている家政婦として働く女性に焦点を当て、彼女ら自身をエンパワーすると同時に組織化し問題を解決する力をつける。

- 活動内容：法律面でのサポート、シェルター、さまざまな生活面での相談
- 裨益者数：約200人
- パートナー：PARICHITI

### 子どもたちによる環境学習事業

子どもたちに、環境問題や農業に関する知識を知ってもらうと共に、農業・園芸・食品加工・農業2次産品（廃棄物）のリサイクルに対して実地研修を行う。得られた情報は、地域のNGOや行政に伝えられるとともに、子どもたちや教師、ボランティアを通じ地域住民に広く共有される。

- 活動内容：環境学習、コミュニティ連携
- 裨益者数：約630人
- パートナー：DRCS

# バングラデシュ



女性の識字学級



農村部の働く子どもたちへの教育活動



障がい者支援プログラム

## 2006 年度活動報告

2007 年 1 月に予定されていた総選挙が非常事態宣言とともに延期されるなど、年度後半に政情が不安定な状況が続き、活動の細部に影響が生じたものの、予定していた活動はほぼ滞りなく進めることができた。年度末時点における裨益者の合計数は 2005 年度に約 25,000 人だったところ、約 29,000 人となるなど、規模も拡大した。これは農村部におけるパートナー団体がシャプラニールから独立後、特に顕著にみられる傾向であり、活動の質の確保と同時に各団体の組織運営に関してもより注視すべき状況になっている。独立して間もない団体から、すでに成熟しているものまで多種多様なパートナー団体と、シャプラニールがどのような関係（パートナーシップ）を築いていくべきなのか、喫緊の課題として認識しつつ、模索を続けている。

### 1. 農村部での活動

パートナー団体: COLI (イシヨルゴンジ郡)、PAPRI (ベラボー郡、ライブラ郡)、STEP (ギオール郡、ドウロトプール郡)

#### (1) 貧困層の生活向上支援

世界でも類をみないほどの巨大な組織規模を誇る NGO が数多く存在するバングラデシュにおいて、そうした NGO や行政からの支援の手が届きにくい地域や人々に対する支援を、これまでよりもさらに先鋭化させることに取り組んだ。マニクゴンジ県では、30 年以上にわたって活動を展開してきたギオール郡での活動に加え、より生活状況が厳しいとされるドウロトプール郡での活動規模を約 1.5 倍に拡大したほか、ノルシンディ県では、古くから存在する大きなチョール（中洲）に事務所を新設し活動を開始した。さまざまな経済活動はもとより NGO や行政サービスからも「取り残された」人々である寡婦や最貧困層への支援も、規模と同時に質の向上に努め、着実に成果をあげることができた。

また 2006 年度は、グラミン銀行とその創設者であるモハマド・ユヌス氏のノーベル平和賞受賞で、バングラデシュで生み出された「マイクロクレジット」(小規模無担保融資) に対する注目度が世界的に増した年でもあった。シャプラニールも 80 年代からマイクロクレジットを活用した収入向上活動に取り組んできており、きめ細かなソーシャルワークと各種の研修を組み合わせることで、村人の生活向上に大きく貢献している。2006 年度は 3 つのパートナー団体から総額で約 1 億 7 千万円が貸し出され、それぞれ行商や耕作の元手として、あるいはリキシャ（人力の三輪車）や家畜などの購入資金に活用された。最貧困層に対しては個々の状況に応じた弾力的な運用にも努めた結果、こうした収入向上への投資は 10 ～ 40% 程度の利益を生み、返済率も 99% もの高率となった。

#### (2) 地域全体への支援

伝統的な地域コミュニティの崩壊が進むバングラデシュにおいて、行政や地元有力者など、地域のステークホルダー（関係者）がそれぞれの役割を發揮できるよう、さまざまな働きかけを展開した。特にマイメンシン県のイショ



ルゴンジ郡においては、活動するすべてのユニオン（行政村）においてオリエンテーションを実施し、ユニオンとして果たすべき仕事、NGO との役割分担などをユニオンの議員とともに考えることができた。しかし 2006 年度後半からの政情不安により、具体的な活動開始にまでは至らず、今後の課題となった。また、マニクゴンジ県では高齢者を対象にした支援活動の試みを数年来行ってきたり、これからの展開が期待される。

### (3) 働く子どもたちへの支援

ノルシンディ県の県庁所在地に新たな支援センターを開設するなど、従来から継続してきた働く子どもたちへの支援活動（日中や夜間の数時間、簡単な勉強や遊びの場を提供）の規模を拡大すると同時に、各センターを担当する教師への研修を実施するなどして質の改善に努めた。子どもたちが働く店の主人との関係構築の状況によって活動内容が左右されることが多く、必ずしもすべてがうまく運営できているわけではないが、徐々に理解が広まってきている。

## 2. 都市部での活動

### (1) ストリートチルドレン支援

パートナー団体：Aparajeyo-Bangladesh

子どもたち自身の意見がこれまで以上に活動内容へ反映されやすくなるよう、スタッフと子どもとが共同で構成するジョイント・マネージメント・コミティ（合同運営委員会）を新規に作り、定期的な会合をもつことができた。また例年どおり、子どもの権利週間の各種イベントやスポーツ大会、独立記念日の行事などに多くの地域の人々が参加したが、こうした努力の積み重ねの成果が徐々に現れてきている。2007 年 1 月に大規模な寒波がバングラデシュ全土を襲った際、地域の人々から 145 枚の衣料品が寄付されたことも、一例といえる。

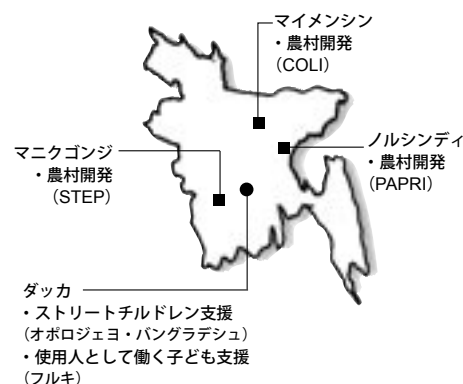
### (2) 家事使用人として働く少女支援

パートナー団体：PHULKI

2006 年度は全く新規の活動として取り組みを始め、ダッカ市内の 2 つの地域において少女たちの支援センター（ヘルプセンター）を開設することができた。ここには現在、公休日である金曜を除く毎日、計 60 人以上の少女が集まるようになっている。パートナー団体である PHULKI のスタッフは少女たちの雇用者へのねばり強い説得を続けてきた。当初は罵声を浴びるなど大変な思いをしたが、次第に雇用者たちからの理解や協力を得られるようになってきた。こうした経験を今後どうやってまとめ、社会に訴えていくかが課題となっている。

## 3. 防災、ほか

バングラデシュ国内の防災・災害対策専門家を招いての研修を企画し、長年シャプラニールの現地アドバイザーを務めてもらっているサイドル・ラーマン氏を講師に迎え、シャプラニールおよびパートナー団体のスタッフの参加を得て実施した。また同様に、ジェンダーについての研修も人権・法的支



ストリートチルドレン支援活動結果  
(2007 年 3 月末現在)

|                 | 男子     | 女子    | 計      |
|-----------------|--------|-------|--------|
| ストリートスクール利用者*   | 10,659 | 4,546 | 15,205 |
| 1 日平均利用者（午前）    | 23.7   | 8.6   | 32.3   |
| 1 日平均利用者（午後）    | 18.5   | 9.5   | 28.0   |
| 1 日平均授業参加者（午前）  | 8.5    | 2.9   | 11.4   |
| 1 日平均授業参加者（午後）  | 6.5    | 3.1   | 9.6    |
| ドロップイン・センター利用者* | 26,733 | 8,050 | 34,783 |
| 1 日平均利用者        | 73.2   | 22.1  | 95.3   |
| 1 日平均授業参加者      | 14.3   | 4.0   | 18.3   |
| カウンセリングセッション    | 28     | 9     | 37     |
| 地域住民による委員会開催    |        | 98 回  |        |

※利用者数は、年間の延べ人数



ドロップイン・センターで牛乳を飲む  
ストリートチルドレン



少女グループのミーティング

援を専門とする団体からファシリテーターを招き、ワークショップ形式で実施した。

さらにマイメンシン県イショルゴンジ郡において、村人の生活の変化を把握すると同時に、今後の農村調査のあり方を考察することを目的とした調査を実施した。予備調査を含め、計 17 世帯に対する丁寧な聞き取りを行った結果、うち 11 世帯の生活が向上していたことが確認されたが、ショミティ経験者と未経験者との間に経済的に明確な差は見出せず、改めてマクロレベルでの経済発展の影響の強さを認識することとなった。なお農村部における新規活動については、開始に向けた調査を実施したものの具体的な事業計画をたてるには至らず、次年度に持ち越しとなった。この他、他団体のツアーを受け入れている最中に発電機が爆発し、パートナー団体である PAPRI のスタッフ 2 名が死亡するという事故があった。これを受け、シャプラニールとしてのスタディツアー実施のガイドラインを再整備した。

## 2007 年度活動計画

シャプラニールは 2007 年度をもって 35 周年を迎えるが、その初期段階から活動を続けてきた農村部では、支援対象地域や規模を着実に増やしていくと同時に新規計画を策定して新たな展開を図る。また都市部では、家事使用人として働く少女への支援活動を評価し、今後の取り組み方をまとめる。

### 1. 農村部での活動

#### (1) 貧困層の生活向上支援

パートナー団体: COLI (イショルゴンジ郡)、PAPRI (ベラボー郡、ライプラ郡)、STEP (ギオール郡、ドウロトプール郡)

2006 年度に実施した農村調査でも確認されたことだが、貧困層全体の生活状況は着実に改善しているものの、一方で治療費の高騰によって病气などをきっかけに以前よりも家計が苦しくなってしまう世帯が少なからず見られるなど、経済の歪みが社会的弱者により強く影響する状況となっている。そこで 2007 年度も引き続き、行政や他の NGO の支援から取り残されている人々への取り組みを質・量の両面で強化する。また農村社会の変化を見据え、今後の農村部での活動の方向性を考えるために 2006 年度に行った調査結果を踏まえ、新規活動の具体的な計画策定を進め、2008 年度からの活動開始を目指す。

#### (2) 地域の課題に対応する支援

貧困層の人々が継続的に生活向上を果たしていくためには、シャプラニールからの直接的な支援だけでは限界がある。地域内の中間層や富裕層に属する住民や行政にも働きかけ、できるだけ多くの関係者がそれぞれの役割を自覚し、必要な行動を始められるように働きかけていく必要がある。そこで、少年少女グループによる地域へのボランティア活動、村委員会、高齢者集会、ユニオン（行政村）との協働関係の構築など、さまざまな形で取り組んできた活動を継続する。経済的な生活向上のみならず、社会への参加の機会や尊

厳を奪われている人々への効果的な支援の方法を考えていくことが特に求められている中、新たな方策について各パートナー団体と協議する。

### (3) 働く子どもたちへの支援

貧困などを理由に、村の茶店などで長時間労働を強いられている子どもは依然として多いため、従来どおり、働く子どもたちを対象とした支援センターの活動を継続する。合計 11 センター、計 175 人への支援を実施する。



家事使用人として働く少女たちのミーティング

## 2. 都市部での活動

### (1) ストリートチルドレン支援

パートナー団体：Aparajeyo-Bangladesh

地域住民の活動への理解とさらなる支援体制の強化を図り、イベントへの協力や物品の供与だけでなく、金銭的に支援してくれる住民組織を育成する。また、活動開始以来 8 年目を迎えると同時に現行 3 カ年計画の中間年となることから、活動評価をパートナー団体と協働で実施する。

### (2) 家事使用人として働く少女支援

パートナー団体：PHULKI

2006 年度に開始したヘルプセンターでの活動を充実させるほか、雇用者や親とのワークショップを実施する。なお、この活動は先行事例がなく、シャプラニールにとってもパートナー団体にとっても全く新しい試みであるため、2006 年度および 2007 年度の活動状況をもって成果と課題を整理する予定となっていた。そのため年度後半に全体を通しての活動評価を行う。

### シヨミティ育成結果 (2007 年 3 月末現在)

| 地域 (パートナー)          | 2005 年度 |        | 2006 年度 |        |
|---------------------|---------|--------|---------|--------|
|                     | グループ数   | メンバー数  | グループ数   | メンバー数  |
| イショルゴンジ郡 (COLI)     | 337     | 4,906  | 312     | 4,541  |
| ボイラ・ドウロトプール郡 (STEP) | 157     | 3,040  | 176     | 3,385  |
| ホリランプル郡 (STEP) *    | -       | -      | 43      | 719    |
| PAPRI (農村部) *       | 435     | 8,852  | 567     | 11,891 |
| 合計                  | 929     | 16,798 | 1,098   | 20,536 |

\*部分はシャプラニールの支援ではなく各団体の独自事業

### 農村部における主なグループ活動 (2007 年 3 月末現在)

| 活動名         | COLI |     | STEP |     | PAPRI |     | 計   |       |
|-------------|------|-----|------|-----|-------|-----|-----|-------|
|             | 員数   | 人数  | 員数   | 人数  | 員数    | 人数  | 員数  | 人数    |
| 少女グループ      | 49   | 627 | 21   | 469 | 49    | 917 | 119 | 2,013 |
| 少年グループ      | -    | -   | 3    | 70  | 1     | 12  | 4   | 82    |
| 子どもグループ     | -    | -   | 8    | 268 | -     | -   | 8   | 268   |
| 職業別グループ     | 16   | 221 | -    | -   | -     | -   | 16  | 221   |
| 最貧困層グループ    | 25   | 367 | 44   | 205 | 62    | 991 | 131 | 1,563 |
| 寡婦グループ      | 22   | 200 | -    | -   | -     | -   | 22  | 200   |
| 児童補習学級      | 34   | 640 | 6    | 286 | 5     | 150 | 45  | 1,076 |
| 働く子ども支援センター | 11   | 175 | -    | -   | 1     | 100 | 12  | 275   |
| 障がい者        | -    | 60  | -    | -   | -     | 752 | -   | 812   |
| 村委員会        | 6    | 177 | 1    | 35  | -     | -   | 7   | 212   |
| 裨益者総計       |      |     |      |     |       |     |     | 6,722 |



オカルドウンガへ経向かう道中



オカルドウンガ郡住民の集会

## 2006 年度活動報告

2006 年度はネパール国民による民主化要求の大きな社会運動に始まり、国王が実権を失った結果、これまで 10 年にわたってネパールの人々を悩ませてきたマオイストが加わる形で暫定政権が発足するという大きな変化が起こった。こうした中、住民の声を直接的に反映させた土地改革法案を作成するために 2005 年度から継続してきた農地獲得運動への支援が無事終了したほか、各活動もほぼ予定通り実施することができた。とりわけ農村部で計 8 年間にわたって活動してきた住民組織の自立支援活動を計画どおり完了することができたのは、ネパールでの 11 年間（調査期間も含めれば 13 年）に及ぶ活動経験の中で、非常に大きな一里塚となった。

### 1. 農村部での活動

#### (1) 住民組織の自立支援

パートナー団体：CSD

ネパール東部オカルドウンガ郡における 7 カ年におよぶ活動は 2005 年度をもって終了したが、その後も現場にスタッフを 2 名だけ配置し、これまでに結成されてきた各種の住民グループの活動状況を観察すると同時に、必要な追加支援を 1 年間限定で行った。貯蓄融資組合に会計担当者が雇用され、活動が継続できる体制が整えられたり、農業生産者グループが共同で集荷センターを建設したりといった自主的な活動展開が見られるなど、所期の目的を達成できたと判断し、2006 年度をもって活動を完了した。

### 2. 都市部での活動

#### (1) 住民組織の自立支援

パートナー団体：SOUP

計 8 つの女性グループ、252 人のメンバーに対し、将来、貯蓄融資活動を行う協同組合として登録され、自ら活動を継続していけるようになることを目指した各種研修を実施した。しかし、都市部の協同組合登録は行政側の都合で停止されたままの状態が続いたため、ゴファル地域で 4 つのうち 3 つのグループが統合して別の種別の組合登録を目指すことになったり、収入向上事業の見直しをするなど、グループ活動に若干の変化が生じた。

#### (2) 働く子どもたちへの支援

パートナー団体：CAPCRON

2005 年度までの経験をもとに、外部からの支援を最も必要としていると考えられるレストランで働く子どもと家庭内で家事使用人として働く子どもを中心に支援対象の焦点を絞り、移動クリニックや技術研修、市民登録証獲得に向けた法的な支援、移動教室を通じた教育の機会提供などを行った。また、バグドール地域では場所を決め、使用人として働く子どものクラスを開始することもできた。現在、13 人の子どもが継続して通い、打ち解けた雰囲気の中、将来の夢を語れるまでになってきている。

### (3) ストリートチルドレン支援

パートナー団体：JAFON

子どもたちが休息をとったり遊んだり、生活のために自由に使える施設である「みんなの家」の運営を継続して行った。日中の利用者が20人から、多い時には40人を数えるようになり、また夜間の宿泊利用者も20～25人と、2005年度よりも多くの子どもたちが集まるようになった。一方、鉄くずの買い取り所や食堂といった、将来この施設の運営収入源として期待されていた部分の収支状況が思うように改善せず、課題を残した。また、インドとバングラデシュへの訪問研修から得たアイデアとして、簡単な読み書きが勉強できる教室の運営にも取り組んでみたが、継続的に実施できる体制が整わず、中止した。こうした問題は、この活動のパートナーであるJAFONの組織体制やリーダーシップに未熟な面がまだ残っていることを示しており、組織運営に対する支援を今後強化していく必要がある。

### 3. 防災、ほか

ネパール国内での緊急救援活動、およびカトマンズ事務所自身が被災した場合、双方の行動マニュアルについて、ダッカ事務所のそれを参考に策定作業に着手したが、完成は2007年度に持ち越しとなった。また、自然災害対策事業を検討する中で、貧困層への支援を強く意識した形での農村部における防災対策活動を新規に立案することとなり、パートナー団体の選定を行ったが、これも活動開始は2007年度からとなった。

また、カトマンズ事務所の業務全般に対するアドバイスをもらう目的で、ネパールのNGOで活躍する3人を新たに選定し、アドバイザーとして2年間を委嘱することになった。

## 2007年度活動計画

農村部では2007年度中に新規の活動を2つ開始する予定であり、バングラデシュと同様、ネパールにおける農村での活動の新しい展開を推し進めていく年となる。また、都市部での活動は2006年度とほぼ同様の内容を継続するが、すべて現行の活動期間が終了となるため、それぞれ今後をどうするか、評価と検討を行うことになる。

### 1. 農村部での活動

#### (1) 貧困層に配慮した地域防災活動支援

パートナー団体：RRN

ネパールは南北わずか170kmの幅の中に、インドと国境を分ける平野部から中国に接するヒマラヤまで、バラエティに富んだ自然環境を有し、実に8,000m以上の高低差が存在する。そのため急峻な地形と脆弱な地層、モンスーン期の豪雨に加え、森林の減少などもあり、洪水や地すべり、土石流などの災害が頻発している。こうした災害それ自体は誰にとっても大きな影響



ガムチャ村の女性グループ



ストリートチルドレンの集う「みんなの家」



児童労働について知ってもらうための  
ストリート・ドラマ

があるが、とりわけ貧困層、特に被差別グループや先住民族、女性、子ども、高齢者、障がい者など、いわゆる社会的弱者の不安定な生活に壊滅的な打撃を与える可能性を常にもっている。そこで貧困層、中でも女性や子どもの生活を災害の影響から守るということに主眼をおいた地域防災活動への取り組みを、2007年度から開始する。洪水被害の頻発する地域の一つであるチトワン郡を対象に、小規模な洪水対策インフラの整備、住民に対する防災意識の普及を目的とした研修、収入向上活動などを組み合わせた活動を予定している。

## (2) 貧困女性の生活向上支援

女性に対する社会的な制約が多く存在するネパールの中で、女性自身がエンパワー（意識と能力の向上）されることを目指した実験的な活動に取り組む。女性問題に対する価値観を共有できるパートナー団体を選定し、そのパートナーとともに活動地域と具体的な取り組みの内容を決めていくプロセスを重視する。

## 2. 都市部での活動

### (1) 住民組織の自立支援

パートナー団体：SOUP

当初設定していた活動計画の期間が2007年度で終了することから、これまで取り組んできた女性グループの育成作業を継続するとともに、各グループの状況を評価し、活動終了に向けて何が必要なのかを個別に判断する。

### (2) 働く子どもたちへの支援

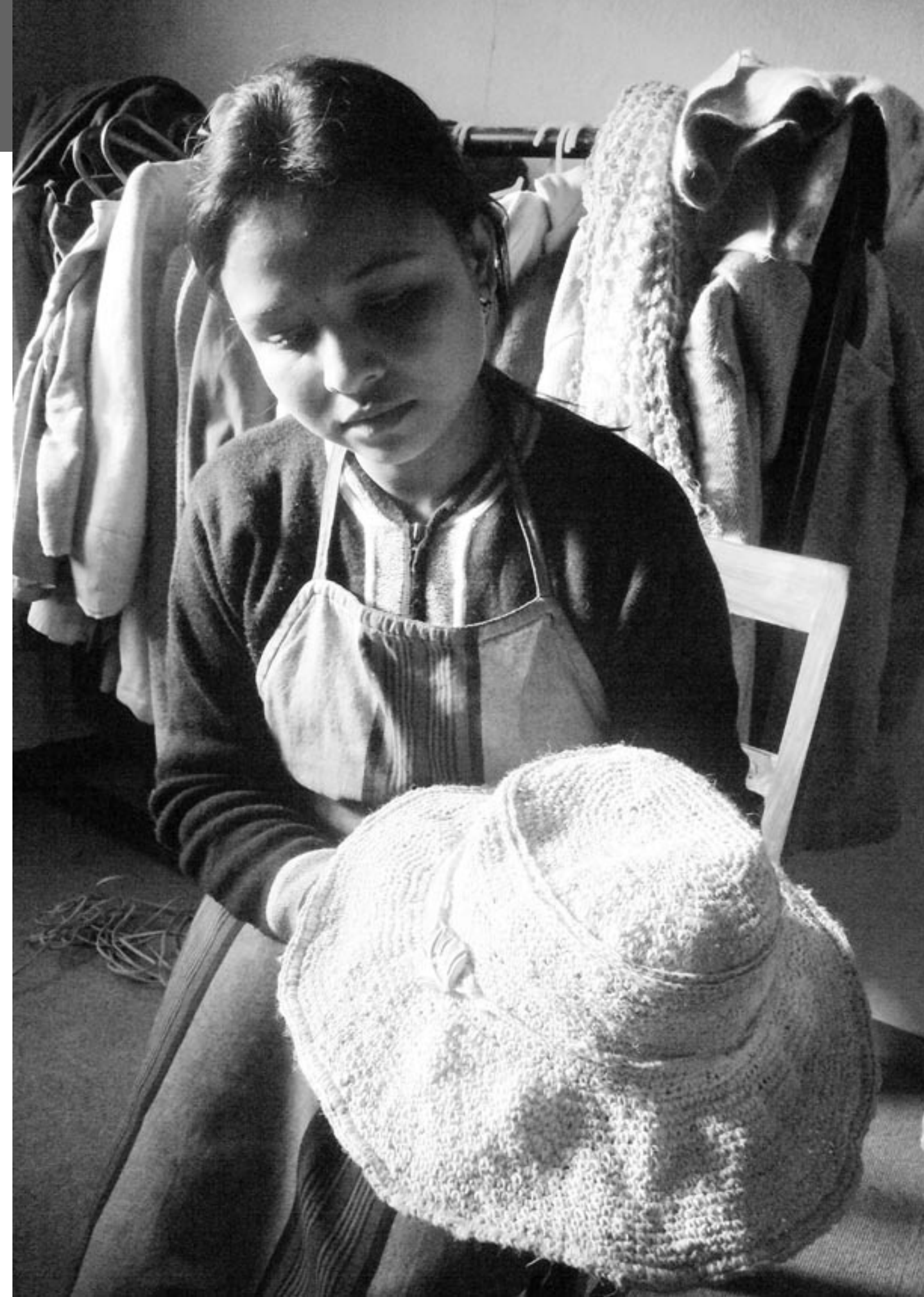
パートナー団体：CAPCRON

2006年度に引き続き、レストランで働く子どもと家庭内で使用人として働く子どもを中心とした各種の支援活動を継続する。単なるサービス提供の活動にならないよう、子どもたちの周囲にいる住民の主体性をどのように引き出していけるかが課題となる。また、2007年度で現行の活動期間が終了するため、自己評価の一貫としてこれまでの学びを記録に残し、援助機関や類似の活動をするNGOなどに広く伝えていく。

### (3) ストリートチルドレン支援

パートナー団体：JAFON

2007年度末までの3カ年のパートナーシップでの事業終了後にJAFON自身で自立した事業にしていくことを目標とし、事業運営と組織運営について議論を続けてきた。しかし、資金流用の発覚や備品の盗難にともなって子どもに対する暴力事件が起き、このままでは子どもたちに対して期待する生活環境が提供されないと判断し、7月末をもってパートナーシップ契約を早期終了することにした。



# インド／緊急救援活動



インドでの環境学習



遠距離を通うインドの家政婦たち

## インド

### 2006 年度活動報告

2006 年度はシャプラニールにとって、インドにおける活動を始めた記念すべき年となった。まずはバングラデシュと同じ言語を話すベンガル人の地域であり、活動による知見をもっとも共有しやすい条件にある西ベンガル州において、2つの活動に取り組んだ。ダッカ事務所から四半期に一度、また東京事務所からも半年に一度程度職員が出張し、現地パートナー団体との打ち合わせや活動のモニタリングを行っている。

#### 1. 子どもたちによる環境学習

パートナー団体：DRCS

各地の小学生から中学生程度の子どもたちが中心となり、地元にある農業や資源の活用方法を自ら調べて発表する活動を実施した。環境の大切さを学ぶと同時に、農村部では地元で失われつつある作物や樹木、鳥、魚などの種類や土地の性質などを記録する活動が行われている。コルカタ市内のスラムでも貧困層の少女たちのために環境学習やライフスキルを身につける学習を実施。また、インドの学校教育カリキュラムで環境が必須となったことを受け、担当教師を対象とするワークショップも実施した。

#### 2. 家政婦として働く女性への支援

パートナー団体：PARICHITI

家政婦として働く女性に対する支援活動を、7月から開始した。ダッカにおける家事使用人として働く少女の問題と同様、コルカタにおいても先行事例がないため、まずは試験的に9カ月間の活動として取り組みを始めた。家政婦がコルカタ郊外から通勤する際に利用する駅構内での相談活動や、雇用の暴力や夫との離婚などに関わる裁判への支援は順調に進められたものの、パートナー団体である PARICHITI が資金を海外から受け取るための認可をインド政府から得るのに時間がかかり、活動拠点として設置する予定だったドロップイン・センターの賃貸契約が2007年3月までずれ込んでしまったことから、活動期間の見直しを行った。その結果、当初の活動期間設定を見直し、2007年7月までを試験期間とすることになった。

### 2007 年度活動計画

2006 年度の活動をそのまま継続するが、家政婦として働く女性への支援は試験期間を経て、本格的な取り組みに向けての評価検討を行う。

#### 1. 子どもたちによる環境学習

2006 年度に引き続き、子どもたちを中心とした環境学習活動への支援を



行う。これまでの取り組みの中で得られた成果を小冊子にまとめ、各グループ間で活用するなど、経験の共有に努めることでさらなる活動の広がりを目指す。

## 2. 家政婦として働く女性への支援

2007年7月まで延長された試験期間中の取り組みによって得られた知見を整理し、成果と課題を明らかにした上で今後どうするかについて慎重に検討し、さらに2008年3月まで活動を継続する。また、対象となる年齢層は異なるものの、ダッカで取り組んでいる家事使用人として働く少女への支援活動ともその経験を共有し、お互いに活用できる点は積極的に取り上げていく。



# 緊急救援活動

## 2006年度活動報告

### 1. ネパール西部平野洪水

2006年8月下旬からモンスーンの影響による大雨が続き、鉄砲水ならびに洪水による被害が発生した。特に洪水被害の広がりが顕著だったネパール西南部では7万人を超える人々が被災したと言われる。シャプラニールはCSDRという現地NGOをパートナーに、バンケ郡内の2つの行政村(VDC)において、10日分の食料を含む物資の配布と医薬品の配布をともなう巡回診療を行い、102世帯618人に対する救援活動を実施した。



ネパール洪水救援

### 2. バングラデシュ寒波

38年ぶりという低温の寒波がバングラデシュ全土を襲い、半月ほどの間に全国で150人が凍死するなど、大きな被害が生じた。寒波の特徴は、その性質(暖かい衣類を所持する富裕層には影響がない)から、最貧困層の住民が特に大きな被害を受けることにあり、今回はシャプラニールの通常の活動地だけでなく、北部ガイバンダ県でGUKという現地NGOをパートナーとして実施した分を含め、計1,562世帯の最貧困住民に対して衣料や毛布等の防寒具の配布を実施した。

# クラフトリンク



2006年春夏カタログ



2006年秋冬カタログ

## 2006年度活動報告

### 1. 活動の概要

2006年度は販売の拡大を重点課題とし、販売促進と商品開発を進めてきた。その結果多くの市民、団体からの協力を得（表1）、売上額も2005年度を若干上回る結果となった。ステナイ生活との共同キャンペーンではレジバッグを中心としたジュートバッグの販売促進に努め、売上を伸ばした。また特に楽天市場を通して多くの新規顧客を得ることができた。季節ごとのセールやクリスマス、バレンタインデーに合わせた販売の企画などを実施し、売上の確保に貢献した。

### 2. 通信販売と楽天市場における販売の強化

カタログのページ数を増やし、商品の説明や生産者情報等を充実させた。楽天市場では写真による商品説明を増やしたり、頻繁に販売促進企画を打ち出すなどの工夫を行うとともに、受注から納品までの期間を短縮するなどにより顧客満足度のアップに努めた結果、新規顧客は毎月150名を維持している。また、阪神タイガースの公認を受けたバッグの開発を進めた。発売開始は2007年夏を予定している。このほか、夏、クリスマス、新春のセールを実施し、チラシの両面カラー化や増ページを行った結果、売上が伸びたものの、特にクリスマス商品が予想以上の注文を受けたため欠品が相次ぎ、販売の機会を逸した。委託販売については在庫管理を円滑に行うため委託期間を2カ月から2週間へ変更した。これにより季節商品がシーズン中に返品され、次の委託先へ回るといったサイクルは出来たものの、一度に返品が集中したため返品作業が思うように進まない時期があった。

### 3. ステナイ生活キャンペーンの実施による新規顧客獲得

ステナイ生活との共同キャンペーンにより、レジバッグを中心としたジュートバッグの販売促進に努め、環境系イベントへの出店やインターネット上での露出度を高めるなどによって大きく売上を伸ばした（表2）。特に楽天市場での売上の大部分をレジバッグや他のジュート製品が占めており、マイバッグへの関心の高まりとともに新規顧客の獲得につながった（表3）。

### 4. 商品開発強化の継続

衣料品専門のデザイナーを雇用し、衣料およびファッション雑貨の商品開発に注力した。その成果物としての新商品が掲載された2007年春・夏カタログは、衣料を中心に好評を得ている。

### 5. 販売促進

5～7月に札幌、新潟、大阪、沖縄の4カ所でフェアトレードキャラバンを実施した。全体で来場者数約2,600人、売上合計が約277万円であった。フェアトレードの意義を伝えるブックレット「シャプラニールのフェアトレード」

が発行された。楽天市場では季節商品やカタログには掲載されていない商品の販売を進めた。店舗での販売を行っている販売協力者へはきめこまやかな対応を心がけたほか、特別価格のセールを実施した。新規の取扱店舗が順調に増えたこともあり売上を伸ばした。イベント等への出店については出店先の見直しを行うと共に、売上の見込めるイベントへ新規出店するなどした。

また、3月に「南アジアの織と刺しゅう」と銘打ったフェアトレード・フェアを東京で開催した。2日間で637名の来場者があり、118万円を売り上げた。たまたま通りかかった一般の来場者も多く、フェアトレードの意義を伝える良い機会となった。



フェアトレード・キャラバン in 沖縄

## 6. 手工芸品団体対応

新規団体であるサリー・アン (Sally Ann)、十数年ぶりに取引再開となるプロボルトナ (Prabartana) の商品の取扱を開始した。品質管理強化策として、出荷時の現地事務所スタッフによる検品、入荷時の東京事務所における検品を強化した。これにより不良品は差し戻して作り直しを求めるなどの対応が可能となった。

## 7. その他

フェアトレードについて学ぶインターンを募集し、情報収集やアンケート分析、現地生産団体の情報整理のほか、倉庫作業や発送など日常業務にも携るなかで、フェアトレードの意義について学ぶ機会を提供した。

(表 1) 年間延べ協力者数 (納品件数ベース)

|      | 2002年 | 2003年 | 2004年 | 2005年 | 2006年 |
|------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 納品件数 | 3,929 | 4,027 | 4,172 | 6,462 | 5,364 |

(表 2) ジュート製バッグ販売数

|         | 2005年 | 2006年 |
|---------|-------|-------|
| レジバッグ   | 2,053 | 2,816 |
| ジュートバッグ | 2,018 | 2,656 |

(表 3) 新規顧客数推移

|       | 2003年 | 2004年 | 2005年 | 2006年 |
|-------|-------|-------|-------|-------|
| 新規顧客数 | 844   | 1,213 | 3,198 | 2,098 |



フェアトレード生産者とスタッフ



ポカラの手織り布

## 2007 年度活動計画

生産者の生活向上という目的をより意識した形で、2007 年度も多くの市民の協力を得ながら引き続き販売強化に重点を置く。現存の顧客への対応を手厚く行い、商品群や顧客層などクラフトリンク南風が現在持っている強みを伸ばしながら全体の売り上げ増を目指す。フェアトレードが着実に普及しつつある現在の潮流に乗り、知名度を上げるための取り組みも行っていく。

### 1. 販売促進

販売形態の中で特に伸びている店舗への卸をさらに伸ばすため、売れ筋商品を切らさない、販売促進のための情報提供、受注から納品までの時間短縮、頻繁にコミュニケーションをとるなどの工夫を行う。また個人客の中でも購入額の多い顧客を対象とした特別セールの実施、過去の委託販売協力者の掘り起こしなど、既存顧客への対応を手厚く行う。一方、マイバッグ・ブームに乗って好調なジュートバッグの大口注文やオリジナルバッグの特別注文を獲得するため、企業や労組等への働きかけやウェブサイト上での販売促進に注力する。また、カタログ上での丁寧な商品説明や生産者情報の提供を心掛けるなど、購買意欲を高める工夫をする。ジュートバッグの効果的な広報を通じてフェアトレード団体としてのシャプラニールの存在感を高める。

### 2. 新たな取り組み

これまでのカレースパイスに加え、繰り返しの購入が見込まれる新たな食品の取扱へ向けて準備を進める。また、市民活動団体である「2025 プロジェクト」が企画するトラ保護キャンペーンと連動した形で阪神タイガースのロゴ入りバッグを販売するほか、秋には現地手工芸品団体のスタッフを招へいし、国内数カ所でフェアトレード・フェアを実施する。

### 3. 商品開発

単価の高い衣料を中心とした商品開発を継続する一方、対象商品分野、対象顧客層、デザイナーの雇用形態などこれまでの方向性を検証する年とする。ジュート製品、ノクシカタ製品など主力商品の充実にも力を入れる。

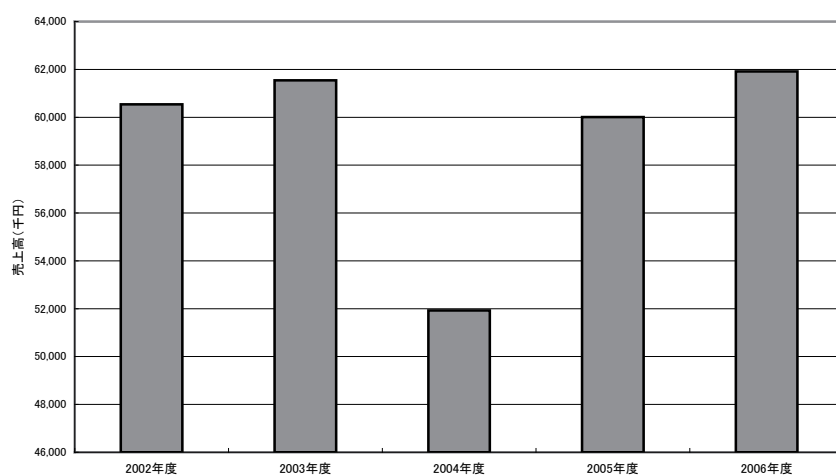
### 4. フェアトレードの深化

フェアトレードに関する連続講座の開催、他団体との協働、マスメディアへの露出度を増すなど、フェアトレードに取り組む団体としての存在感を高める努力をする。同時にスタッフの能力強化にも力を入れ、フェアトレード先進地域への視察などを含めた研修の機会を設ける。こうした取り組みの中からシャプラニールとしてのフェアトレードの意義を明確にし、積極的な情報発信を行っていく。

## 5. 手工芸品団体との関係

素材や品質についてのこだわりを強め、よりよい製品作りへ向けた努力を共に進めていける関係を作る。各団体や生産者に関する情報をアップデートし、現地の状況を日本の消費者へもわかりやすく伝えていく。

### クラフトリンク 売上高推移



### 手工芸品団体一覧

| 国       | 団体名       | 正式名称                              | 主な取扱商品          |
|---------|-----------|-----------------------------------|-----------------|
| ネパール    | ACP       | Association for Craft Producers   | タルー・アップリケ、ニット製品 |
|         | BCP       | Bhaktapur Craft Paper Ltd.        | 手すき紙カード         |
|         | ダッカ・ウィーヴズ | Dhaka Weaves                      | ダッカ織            |
|         | マハグティ     | MAHAGUTHI                         | 手織布衣料、ニット製品     |
|         | サナ・ハスタカラ  | SANA HASTAKALA                    | ミティラ・アート、アロー製品  |
|         | WSDP      | Women's Skill Development Project | 手織布バッグ          |
| バングラデシュ | アーロン      | BRAC/Aalong                       | ノクシカタ タペストリー/小物 |
|         | ジュート・ワークス | CORR The Jute Works               | ジュートバッグ/サンダル、素焼 |
|         | カルポリ      | Karu Palli                        | 小銭入れ、ブックカバー     |
|         | クムディニ     | Kumudini Welfare Trust of Bengal  | ろうけつ染、刺しゅう製品    |
|         | MCC       | The Mennonite Central Committee   | レジバッグ、手すき紙      |
|         | サリー・アン    | Sally Ann                         | クリスマス・オーナメント    |
|         | シレイコン     | Shilleikon                        | 手織布バッグ、プレイスマット  |
|         | プロボルトナ    | UBINIG/Prabartana                 | 手織布衣料、スカーフ      |
|         | YWCA      | YWCA Bangladesh                   | 指人形、ワインバッグ      |

# 国内活動



小松駐在員帰国報告会

## 2006 年度活動報告

### 1. ささえる（現地を支援するための活動）

#### (1) 会費・寄付

- ・夏期募金、年末年始募金のお願いの際には、前回の募金に対する報告を掲載して、寄付がどのように役立っているか知ってもらえるようにした。年末年始募金では前年度比 112% の協力を得ることができた。
- ・より気軽に寄付ができるように、2006 年 12 月からウェブサイトからのクレジットカード寄付を開始した。また、会費支払いの多様化のために、2006 年 11 月から会費のコンビニ支払いを開始した。

#### (2) ステナイ生活

- ・クラフトリンクとの共同キャンペーンを行い、カタログや会報でエコを意識した広報をした結果、クラフト購入者から 2005 年度の 2 倍の協力を得ることができた。また、ap bank fes'06 やアースガーデンなどエコ・環境関連のイベントにも共同出店し、新たな層への参加を呼びかけた。
- ・12～3 月の年賀はがきキャンペーンを行い、1,000 名強の新規支援者を得た。
- ・CSR（企業の社会的責任）における環境への関心の高まりやステナイ生活の取り組みやすさにより、企業からの問合せが増え、93 の企業・労働組合からの協力が得られた。

#### (3) 企業や他団体との協働

- ・企業・団体との協働については、企業と NPO のフォーラムやシンポジウムに積極的に参加し、関係作りを行った。その結果、社内全体でステナイ生活に取り組み事例やクラフトの委託販売など新たな協力も増えている。また、ウェブサイトの「企業・団体との協働」ページの改定を行い、CSR 担当者に向けてシャプラニールへの協力方法を具体的に示した。

### 2. つたえる（現地の活動の視点から発信する）

#### (1) 団体のイメージ（ブランド）管理

ウェブサイト、印刷物、雑誌・新聞掲載や取材は、広報が取りまとめることで、色やトーンの統一、内容確認などを行ったが、会全体としてのブランド管理ルールづくりまでには至らなかった。

#### (2) 刊行物

- ・プロジェクト別紹介ペーパーについては、より利用頻度があり用途別に使えるものとして、活動紹介の簡易版と詳細冊子の 2 つに分けて制作した。
- ・会報「南の風」を隔月年 6 回、オピニオン誌「もうひとつの南の風」は年 2 回発行し、活動の報告を会員に伝えた。
- ・シャプラニールが行うフェアトレードの意義をまとめたブックレット「シャプラニールのフェアトレード」を発行した。
- ・2005 年 9 月にシャプラニールがコーディネートした、宮崎将・あおい兄妹によるインドのクラフト生産現場とストリートチルドレンの訪問の様子が、写真集「たりないピース」として 2006 年 5 月に発行された。

### (3) ウェブサイト

ブログの開設や動画配信を開始し、会報では伝えきれない現地の生の情報提供やタイムリーな情報発信を行った。駐在員のブログはNHKのBS番組で内容が紹介されるなど、一定の広報効果を挙げている。インターネットの閲覧回数はクラフトの楽天市場を含め、年間260万回を超えた。

### (4) 情報発信

フェアトレードや環境問題に関する意識が高まり、効果的な情報発信を行ったことで、「クラフトリンク」と「ステナイ生活」の活動が注目され、新聞社・雑誌社からの取材依頼が増え、2006年度中に87件（新聞48、雑誌33、TV・ラジオ6）掲載された。

## 3. といなおす（日本のあり方を考える）

### (1) 地域の人びとと共に

- ・5～7月にフェアトレードキャラバンとして愛・地球博で作成した展示物ならびに中森駐在員の帰任報告会を兼ね、札幌・新潟・大阪・沖縄の4カ所で開催した。この企画は、地域連絡会やクラフトの常設店、協力団体（NPO・大学）と共に創りあげ、多くの人を巻き込むことができた。
- ・10～11月に小松前カトマンズ事務所長の帰任報告会が地域連絡会をはじめとする全国合計19カ所で開催され、約800人が参加した。カトマンズのストリートチルドレンをテーマに講演した。会員へのお誘いに力を入れ他結果、新たに12名の会員を得ることができた。

### (2) 開発教育

- ・これまでに作成した教材を29回貸し出し、11セットを販売した。
- ・武蔵野市国際交流協会のボランティアと開発教育教材としての授業案作りに取り組んだ。
- ・総合学習や修学旅行など17の学校の受け入れを行った。

### (3) スタディツアー

夏に1回バングラデシュのスタディツアーを行ったが、冬に予定したツアーはネパール・バングラデシュ共に政情不安のため中止した。

### (4) これからの地域展開について

日本国内での地域展開のあり方について、次期中期方針策定を前に理事とスタッフによるタスクフォースを作り議論を重ねた。活発な活動を継続している地域連絡会はあるものの、人材不足などの理由で活動がままならない連絡会もあるという認識のもと、新しく人びとが出会い交流する場をつくると共にその後のフォローアップの必要性などについて理事会に答申された。

## 4. その他

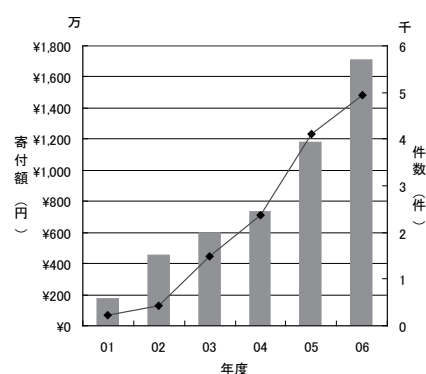
### (1) 東京事務所を中心とした自主活動

- ・ユースチーム

学生を中心としたボランティアグループ、ユースチームは「講演会&パネルディスカッション」をはじめとして、「中学生・高校生のためのユースフォーラム2006」、「チャリティコンサート」、「勉強会」、「大学生のためのTHE☆

## ステナイ生活

### 寄付額と寄付件数の推移（2001-2006）



ステナイ生活のボランティア説明会



Earth Day Tokyo 2006



ap bank fes'06

FORUM」を実施した。また、その他関連団体やシャプラニール主催イベントにボランティアとして協力した。

- ・シャプラニール劇団

- ネパールのシナリオ制作を念頭に料理会や勉強会を行った。

- ・ネパールサムハ

- 毎月1回自主的に集まりネパールの社会情勢やシャプラニールのパートナー団体の活動に関する学習会を行った他、これまでの活動冊子「ネパールサムハ活動記録 2003～2006年」を作成した。

## 2007 年度活動計画

シャプラニールの理念を実現するため、全国の多くの人に参加できるように、活動への参加を促すために下記のとおり活動を行う。

### 1. 地域活動と開発教育

#### (1) 地域展開

- ・ 現行の地域連絡会に加え、市民や学域や職域もしくはひとりでも活動に参加できる海外協力の輪を広げられるような仕組みを検討していく。
- ・ 地域での活動提案に対して資金的な補助をすることで、地域活動の活性化を図る。
- ・ 小嶋駐在員の帰任を機に 2008 年 1～2 月に全国キャラバンを実施する。この際、積極的に地域の会員や協力者が交流できるような企画も実施する。スタッフや役員も積極的に同行し、地域の人々からの意見を聴く場を持つ。

#### (2) 開発教育

- ・ フェアトレードやカレーをテーマにした資料セットを制作し、多くの人に使ってもらえるようにする。
- ・ 学校の教育現場にシャプラニールの活動理念を伝えるために開発教育に携わる人々とのネットワークを強化する。
- ・ 修学旅行や訪問学習も従来どおり受け入れる。

#### (3) スタディツアー

- 会員に現場を見てもらいスタディツアーを現地治安状況を勘案しながら年 2 回程度実施する。

### 2. 活動支援者を広げる

#### (1) ステナイ生活の輪の拡大

古本や書き損じはがきなどを換金して海外協役に役立てるステナイ生活は、企業や団体を中心に、協力の提案を積極的に進めていく。また、キャンペーンを実施し、新規支援者 700 名を目指すほか、報告会等を開催して継続的な支援を呼びかける。ステナイ生活協力者を対象に、継続的な支援方法としてマンスリーサポーターを紹介するキャンペーンも実施する。



## (2) 支援者が関心を高められるように

シャプラニールの活動をわかりやすく、いきいきと支援者、ボランティアへ伝えるため、入門講座やさまざまな報告会などの企画を開催し、より深く活動へ関わってもらえるようにする。また、こうした活動を地域でも展開できるよう検討する。

## 3. 広く活動理念を伝える

### (1) メッセージの発信

シャプラニールのすべての活動を「共生」という視点で捉え、共感できるメッセージを発信することで、シャプラニールが対象とする「取り残された人々」の現状、活動の意義と支援の必要性を伝えていく。

### (2) 刊行物

会報「南の風」、オピニオン誌「もうひとつの南の風」は例年通り発行する。活動をわかりやすく伝えるために、内容や言葉づかいなどを意識し、多くの人に共感してもらえるようなものを作っていく。

### (3) ウェブサイト

多くの人に共感を持ってもらい、参加につながるようなウェブサイトづくりを心がける。また、インターネットの特性を生かし、現地の生の情報提供やタイムリーな情報発信を引き続き行っていく。

## 4. 企業・団体との協働

CSR（企業の社会的責任）やフェアトレードなど社会への関心が高まっているなか、企業・団体がシャプラニールと協働することの利点を明確にし、互いに活動の幅を広げることができるよう連携を進めていく。ステナイ生活、クラフトへの協力を呼びかける営業のほか、シンポジウムなどにも積極的に参加し、ネットワークを広げていく。

## 5. その他

### (1) 東京事務所を中心とした自主活動

#### ・ユースチーム

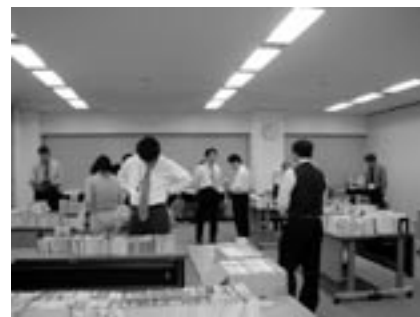
最盛期にある状況を維持することを目指しつつ活動を継続する。8月に「青少年のためのフォーラム」、2月に「The ☆ Forum」をいずれも宿泊型企画として行う。一般青少年向け企画として「座談会」などを予定するほか、「いりあい・よりあい・まなびあいネットワーク」に協力して、「インドネシアー日本インターネット交流企画」を実施する。この他にも「市民による海外協力」を視野に入れた企画を可能な限り立案し実行する。

#### ・シャプラニール劇団

ネパールのシナリオ制作を目標に、勉強会やミーティングを行う。

#### ・ネパールサムハ

2007年度もこれまでに引き続き勉強会を中心に月に一度の定例会を行う。独自のホームページの開設なども検討していく。



企業内での古本販売会の様子



エコ+海外協力として注目されている「ステナイ生活」

# 組織の充実



会員総会での活動報告



JICA 市民社会支援プログラムの参加者と  
(山形県飯豊町中津川)

## 2006 度活動報告

### 1. 市民の参画

クラフトリンクとステナイ生活の共同キャンペーンは、両者を広報する外部イベントへの共同出展などを行うにとどまらなかったが、フェアトレード・キャラバンや小松婦国報告会では、地域連絡会やクラフトの常設委託店、NPO や大学など、幅広い市民の参画を得て実施することができた。

### 2. 認定 NPO 法人申請・国連認定 NGO についての調査

認定 NPO 法人については、準備をするのに時間がかかり、申請自体は 2007 年度に持ち越した。また、国連認定の NGO についてはメリットデメリットを調査するにとどまった。

### 3. 支援者拡大に向けて

2006 年度は 4～5 月と 9～11 月に会員、12～2 月にマンスリーサポーターの拡大キャンペーンを実施した。その結果、会員が 206 名、マンスリーサポーター 103 名が新たに加わった。

### 4. 次期中期方針案の策定

2006 年度に中期ビジョン（2004～2006）の最終年となることにあたって、2007 年度から 5 カ年の会の方向性を記した中期方針案を策定した。策定に当たっては理事、評議員、スタッフと会員からなる策定委員会を設置し、理事会、評議員会、事務局との合同会議を経ながらさまざまな立場からの意見を聴取し反映させた。なお、名称を中期ビジョンから中期方針に変更した。

### 5. 35 周年記念事業の企画

2007 年度の 35 周年に向けて事務局内で記念事業の企画を行った。

### 6. 市民社会組織としての貢献（知的貢献部門）

- ・ 2005 年度に引き続き、JICA の研修員受け入れ事業である「市民社会支援プログラム」に対して「いりあい・よりあい・まなびあいネットワーク」、「ローカルジャンクション 21」の協力のもと、これまでの研修生の帰国後のフォローアップおよび、9 カ国 16 名を対象とした 3 週間の研修を実施した。
- ・ 庭野平和財団の南アジア助成プログラムへの協力を継続した。
- ・ JICA 草の根技術協力事業として、バングラデシュでの協働事業を継続した。また、JICA のバングラデシュにおける PRDP（行政と住民のエンパワーメントを通じた参加型農村開発プロジェクト）に国内支援委員を派遣したほか、インドネシアにおける PKPM（市民社会の参加によるコミュニティ開発）プロジェクトの日本国内での研修に講師を派遣した。
- ・ NGO-JICA 協議会に設置されている評価小委員会に委員を派遣した。2 月には合同評価の団長としてガーナのプロジェクト評価を実施した。

・国際協力 NGO センターでは代表理事が副理事長に選任されているほか、2008 年に日本で開かれる G8 サミットに向けて NGO の提言をまとめていく「2008 年 G8 サミット・NGO フォーラム」に運営 NGO として参加した。  
・中央共同募金会の改革を行う企画・推進委員会に引き続き委員を派遣した。  
・学校や中間支援組織などにおける講演・ワークショップの講師派遣を 60 回行った。

## 7. 商標の登録申請

「シャプラニール」と「ステナイ生活」の商標登録申請を行った。2007 年 9 月頃に登録が完了する予定となっている。

# 2007 年度活動計画

## 1. 支援者拡大に向けて

2007 年度もより多くの市民にシャプラニールの活動に参加してもらうため、マンスリーサポーターの拡大キャンペーンを実施する。

## 2. 35 周年記念企画

シャプラニールは 2007 年に 35 周年を迎える。記念企画として、「シャプラニールの今を伝える」をテーマに記念フォーラムと記念パーティを開く。そのほか、他団体と共催で海外からゲストを招聘するなど文化的なイベントの開催を検討する。また、シャプラニールの今を伝えるポスターを制作する。

## 3. 認定 NPO 法人を取得

2006 年度より準備を進めてきた認定 NPO 法人を年度前半には申請する。

## 4. 中期方針の着実な展開

2007 年度より発効する 5 カ年の中期方針に従い、具体的な計画を策定するほか、初年度として方針の方向性に従った形で着実に事業を展開する。

## 5. 市民社会組織としての貢献（知的貢献部門）

- ・2006 年度に引き続き JICA 「市民社会支援プログラム」に対して協力する。
- ・庭野平和財団の南アジアプログラムへの協力を継続する。
- ・JICA 草の根技術協力事業として、バングラデシュでの協働事業を継続するほか、新たにネパールにおける事業についても協働の打診を行う。また、JICA のバングラデシュにおける PRDP（行政と住民のエンパワメントを通じた参加型農村開発プロジェクト）に引き続き国内支援委員と NGO-JICA 評価小委員会へも委員を派遣する。
- ・「2008 年 G8 サミット・NGO フォーラム」への参加を継続する。
- ・中央共同募金会の改革を行う企画・推進委員会に引き続き委員を派遣する。
- ・立教大学大学院 21 世紀社会デザイン研究科に非常勤講師を派遣する。



マンスリーサポーター募集ちらし

# 付表

## ■ 2006 年度国内活動年間カレンダー

|          |  |
|----------|--|
| 4～5月     | 会員入会キャンペーン                             |
| 4月22日    | 評議員会                                   |
| 5～7月     | フェアトレード・キャラバン<br>(大阪、北海道、新潟、静岡、名古屋、沖縄) |
| 5月21日    | ユースグループ主催講演会                           |
| 6月24日    | 会員総会                                   |
| 8月3～6日   | 中学生高校生のためのユース・フォーラム2006                |
| 8月11～20日 | スタディツアー (バングラデシュ)                      |
| 9月30日    | 評議員会                                   |
| 10～11月   | 小松駐在員帰国報告会                             |
| 12～2月    | マンスリーサポーターキャンペーン 2006                  |

## ■ 2007 年度国内活動年間カレンダー (予定)

|             |                  |
|-------------|------------------|
| 4月28日       | 評議員会             |
| 6月23日       | 会員総会             |
| 8月2～4日      | 青少年のためのフォーラム     |
| 8月          | スタディツアー (ネパール)   |
| 9月1日        | 35周年記念フォーラム・パーティ |
| 9月22 or 29日 | 評議員会             |
| 9～12月       | ステナイ生活キャンペーン     |
| 10～11月      | フェアトレードフェア       |
| 1～2月        | 全国キャラバン (小嶋駐在員)  |
| 2月          | マンスリーサポーターキャンペーン |

## ■ 各地域連絡会の主な活動

### ○シャプラニール札幌連絡会

- ・小松駐在員帰国報告会と会員の集い (札幌市くすみ書房 11月23～24日)

### ○シャプラニール秋田グループ

- ・小松駐在員帰国報告会 (生涯学習館「ジョイナス」11月4日)
- ・あきた国際 (交流) フェスティバル (手工芸品販売 秋田市拠点センター「アルペ」11月12日)

### ○シャプラニール仙台ポンドウの会

- ・仙台国際センターまつり (フェアトレードの展示と販売 仙台国際センター 9月18日)
- ・小松駐在員帰国報告会 (仙台市市民活動サポートセンター 11月3日)
- ・会員の集い「シャプラニールの地域活動のこれからを語る」 (仙台市市民活動サポートセンター 11月3日)
- ・写真展「こどもの瞳に映る世界」 (仙台市市民活動サポートセンター 11月2日～14日)

### ○シャプラニールとちぎ架け橋の会

- ・フェスタ my 宇都宮 (手工芸品販売、サリー着付け、フリーマーケット 宇都宮東公園 4月9日)
- ・宇都宮大学新入生歓迎プログラム (連続ミニ講演とワークショップ 宇都宮大学 4月19日～5月17日)
- ・松が峰教会バザー (手工芸品販売 カトリック松が峰教会 5月28日)
- ・サボセンまつり (手工芸品販売 宇都宮市民活動サポートセンター 10月7日)
- ・とちぎインターナショナルフェスティバル (手工芸品販売、サリー着付け 栃木県子ども総合科学館 10月7日)
- ・宇都宮大学学園祭 (手工芸品販売、ベンガルカレー販売、フリーマーケット 宇都宮大学 11月25～26日)
- ・小松駐在員帰国報告会 (宇都宮大学 12月2日)
- ・会員の集い「シャプラニールの地域活動のこれからを語る」 (カトリック松が峰教会 12月3日)
- ・総合的な学習「国際協力ボランティアについて」 (講演 栃木市立西中学校 12月12日)
- ・ニューイヤーズパーティー (とちぎ国際交流センター 1月20日)
- ・その他：毎月一回の定例会、年6回の勉強会、年4回の通信発行

### ○シャプラニール地域連絡会大阪

- ・フェアトレード・キャラバン in 大阪 (大阪市御堂会館 5月21日)
- ・「NGO・ボランティア論」講義 (立命館大学文学部 5月30日)
- ・ストリートチルドレン支援活動についてワークショップ (高槻市立阿武山中学校 7月6日)
- ・アイハウス夏祭り「The 賑 2006」クラフト販売・活動紹介出展 (大阪市国際交流センター 7月23日)
- ・「人権学習フィールドワーク」協力 (高槻市立第四中学校 10月19日)
- ・小松駐在員帰国報告会 (大阪府立女性総合センター・ドーンセンター 11月18日)
- ・会員の集い「シャプラニールの地域活動のこれからを語る」 (大阪府立女性総合センター・ドーンセンター 11月18日)
- ・中学生国際協力実体験セミナー「世界の子どもと私たち」 (バングラデシュのストリートチルドレンを例に子どもの人権を学ぶワークショップ JICA 大阪 11月19日)
- ・人権ロングホームルーム (バングラデシュの問題と自分達の問題との関わりを考えるワークショップの準備アドバイス・講演 大阪府立桃

谷高等学校 1月 11日)

・まちづくりワークショップ「教室で学ぶ子どもの権利」(バングラデシュのストリートチルドレンを例に子どもの権利を学ぶワークショップ 城北市民学習センター 3月 10日)

・シャブラニール関西第一回定例会(フェアトレードに関する勉強会 大阪市総合生涯学習センター 3月 31日)

○シャブラニール南大阪連絡会

・小松駐在員帰国報告会(和泉市立人権文化センター 10月 16日 幸小学校 10月 17日)

○シャブラニール福岡連絡会

・小松駐在員帰国報告会および会員の集い(福岡 YWCA 10月 20日)

○シャブラニール中津連絡会

・小松駐在員帰国報告会(中津市立豊田小学校 10月 27日)

## ■助成団体・ODA 関連一覧

愛知万博協会：国内・愛地球博成果継承イベント出展

特定非営利活動法人 WE21 ジャパン：インド・家政婦

特定非営利活動法人 WE21 ジャパン地域 NPO：バングラデシュ・現地女性スタッフ支援

社団法人海外運輸協力協会 (JTCA)：バングラデシュ・農村開発

独立行政法人国際協力機構 (JICA)：バングラデシュ・農村開発

社団法人国際農業協働協会 (JAICAF)：インド・環境学習事業

財団法人国際ボランティア貯金普及協会：国内・講演助成

財団法人地球市民財団：ネパール・ストリートチルドレン

東京都：ネパール・女性グループ

日本郵政公社ボランティア貯金：バングラデシュ・ストリートチルドレン

日本労働組合総連合会 (連合) 愛のキャンパ：バングラデシュ・農村開発

財団法人庭野平和財団：バングラデシュ・家事使用人として働く少女

三井住友銀行ボランティア基金：バングラデシュ・最貧困女性

三菱銀行国際財団：国内・フェアトレード

UI ゼンセン同盟：バングラデシュ・児童教育

## ■企業・団体との協働一覧 (五十音順)

### 【企業】

○寄付

NEC ソフト株式会社 (寄付) / 住友生命保険相互会社 (寄付) / 株式会社 損害保険ジャパン (寄付) / 日本ビューレット・パッカード株式会社 (物品寄付) / 日本ユニシス株式会社 (子どもの夢基金) / 株式会社ハローズ (寄付) / 株式会社日立製作所 (寄付) / マルコム株式会社 (寄付) / 三井住友銀行 (バングラデシュ最貧困の女性支援)

○ステナイ生活への協力

有限会社アイ・エージェンシー / あいおい損害保険株式会社 / 株式会社アイサス / 株式会社アイビーホーム / 有限会社アークユニバース / アジレント・テクノロジー株式会社 / 株式会社アズクリエーション / いすゞ自動車南九州株式会社 / 有限会社イヌイ金属 / 株式会社イナ・オプティカ / 株式会社インセンティブ / 株式会社上田鋼材 / 株式会社エイデン / 株式会社エス・イー・エヌ企画 / エスエス製薬株式会社 / 株式会社エスパ / NEC / NTT コムウェア株式会社 / 株式会社大塚商会 / 有限会社岡本 / 有限会社オフィス・フライト / キョコマン株式会社 / 九州電力株式会社 / キューズ株式会社 / キューピー株式会社 / 共栄火災海上保険株式会社 / 株式会社クボ

タ / 窪田エンジニアズ株式会社 / 株式会社グローバルエーインフォメーション / 株式会社グローブ / 株式会社佼成出版社

国際航業株式会社 / 有限会社コンゴ / 有限会社サカイ・システム・プランニング / 株式会社サントレーディング / サンフォーム印刷株式会社 / 株式会社サンリオピューロランド / サンワテクノス株式会社 / 株式会社ジーエー建築設計社 / 株式会社島津製作所 / 有限会社スエマツレッカーサービス / 株式会社セブン銀行 / 株式会社創建 / 総合メディカル株式会社 / ソニー株式会社 / 空知日石株式会社 / 株式会社損害保険ジャパン / 株式会社ダイアナ / 株式会社高木商店 / 高砂薬業株式会社 / 田中製型株式会社 / 株式会社ツタヤ / 株式会社津田屋 / T.M. システムズ株式会社 / 株式会社ディスクステーション / 東京海上日動火災保険株式会社 / 東京測定器材株式会社 / 株式会社トーキョートバリ / 東京トレーディング株式会社 / 東都テック株式会社 / 株式会社徳島健康科学総合センター / ドコモ・サービス株式会社 / 株式会社都市デザインシステム / 株式会社トータルマネージメント / 株式会社トミーインターナショナル / 豊田通商株式会社 / トリフォ株式会社 / 株式会社ナイステム / 株式会社ニチメンインフィニティ / 日鐵建材工業株式会社 / 日東カストディ

アル・サービス株式会社／日本生命保険相互会社／日本ユニシス株式会社／株式会社ニュージック／有限会社ねこ・ワンワン／パイオニア株式会社／株式会社畑井興業／株式会社ハートランド／株式会社ハローズ／有限会社ハンド・イン・ハンド／株式会社東日本臨床医学研究所／美虹工芸株式会社／株式会社日立ビルシステム／株式会社ヒット工業／福島鯉株式会社／富士火災海上保険株式会社／松下電器産業株式会社／有限会社マツモト精密鋳金／マリンテクノロジ株式会社／株式会社マルエス／丸三商事株式会社／株式会社三緒／株式会社ミズタニ／三井生命保険株式会社／三菱化学株式会社／三菱商事株式会社／株式会社モーショ／有限会社森善ジーピーアイ／森ビル株式会社／株式会社山田製作所／有限会社山吹不動産／リオ・ドセ・アジア株式会社／株式会社リクルート／リコー販売株式会社／株式会社緑保／和歌山セキスイハイム株式会社

○クラフトリンクへの協力

NEC (イベント出店) / NEC ソフト株式会社 (委託販売) / コクヨ株式会社 CSR 推進部 (委託販売) / 株式会社損害保険ジャパン (イベント出店) / 株式会社大地 (特注) / 株式会社日立製作所 (委託販売)

○その他

オムロン株式会社 (創立記念日の社員ボランティア受け入れ) / 日産自動車株式会社 (NPO ラーニング奨学生受け入れ) / NEC (社内イベントへの出店) / ノースウエスト航空会社 (エアケアー・チャリティ・プログラム)

#### 【団体】

○寄付

秋田県国際交流をすすめる女性の会 / フローラ「わびえ」(識字基金) / (社) ガールスカウト日本連盟愛知県支部 (識字基金) / 川和保育園父母の会 (識字基金) / 自然派くらぶ生活協同組合 (子どもの夢基金) / シャプラの会 (いきいきむら基金) / 全国友の会 / 全日本自動車産業労働組合総連合 (寄付) / 調布W A T (識字基金) / 生活協同組合ドゥコープ (いきいきむら基金) / 長岡市国際交流センター「地球広場」(いきいきむら基金) / 社団法人日本経済団体連合会 / UI ゼンセン同盟 (児童教育) / UI ゼンセン同盟クラレグループ (いきいきむら基金) / UI ゼンセン同盟ダイエーユニオン (いきいきむら基金)

○ステナイ生活への協力

足立田園クリニック / 石金病院デイケアボランティアクラブ / 鎗

物師町内会 / 特定非営利活動法人 WE21 ジャパン / 宇都宮市民活動サポートセンター / 大分大学医学部附属病院 / 幼きイエス会福岡修道院内 / 「お庭番」事務局 / 尾花沢市職員労働組合 / オールムトウ労働組合 / 財団法人鹿児島県国際交流協会 / 特別養護老人ホーム柏尾の里 / 社団法人ガールスカウト日本連盟愛知県支部 / 社団法人ガールスカウト日本連盟千葉 60 団 / 川越友の会 / 特定非営利活動法人グローバル人材育成協会 / 小金井ボランティア・市民活動センター / 財団法人国際協力推進協会国際協力プラザ / 特定非営利活動法人国際社会貢献センター / 国際ソロプチミスト米沢 / 滋賀県社会福祉協議会滋賀県ボランティアセンター / 静岡県競輪労働組合 / 島根県庁文化国際課 / シャープ労働組合 / 諏訪友の会明日の友グループ / 全国漁業共同組合連合会 境港油槽所 / センチュリアンライオンズクラブ / セント・メリー幼稚園 / 社会福祉法人多摩ボランティアセンター / 台東リサイクルネットワーク / 多摩友の会 / 地球環境パートナーシッププラザ / つなしまデポー / つわのカトリック教会天理教本川西分教会 / 東京第三友の会 / 東京第四友の会 / 東京ボランティア・市民活動センター / 栃木県地域婦人連絡協議会 / 長崎漁港水産加工団地協同組合 / 財団法人中日本ボクシングコミッション (役員会) / 社団法人日本経済団体連合会 1%クラブ / 原町聖愛保育園 / 播磨町国際交流協会 / 財団法人福岡 YWCA / 社会福祉法人別府永生会 永生会母子ホーム / ブルーインの森 / 財団法人ベターホーム協会 / ホールアース自然学校 / 町田友の会 / マルエツ労働組合 / 南相馬市国際交流協会 / 武蔵野市国際交流協会 / UI ゼンセン同盟 / UI ゼンセン同盟ダイエーユニオン各支部 / ワークショップ・ブルースカイ

○クラフトリンクへの協力

NTT 労働組合 (イベント出店) / 青山国際交流協会 (委託販売) / 特定非営利活動法人 WE21 ジャパン (委託販売) / CAREWAVE-AID (イベント出店) / 財団法人自治体国際化協会 (委託販売) / 東京 YMCA 西東京コミュニティセンター (委託販売) / ドゥコープ組織運営部 (イベント出店) / 生活協同組合ドゥコープ (委託販売) / 西東京市社会福祉協議会 (委託販売) / 日本キリスト教協議会 (委託販売) / 日本労働組合総連合会 (連合) (メーカーへの出店) / 無茶々園 (イベント出店) / 財団法人モロロジー研究所 MIRC (委託販売) / UI ゼンセン同盟クラレ労働組合 (委託販売) / 1%クラブ チャリティフェスティバル (イベント出店)

○その他

UI ゼンセン同盟 「ボランタス」活動のスタディツアー受け入れ

## ■協力団体・委員会等一覧 (2006 年度)

国際協力 NGO センター (JANIC) (副理事長)

2008 年 G8NGO フォーラム (副代表)

ほっとけない世界のまづしさ (理事)

市民コンピュータコミュニケーション研究会 (JCAFE) (理事)

日本 NPO センター (評議員)

庭野平和財団 (南アジアプログラムアドバイザー)

アトム通貨実行委員会 (委員)

シーズ=市民活動を支える制度をつくる会 (会員)

開発教育協会 (会員)

JICA バングラデシュ PRDP 国内支援委員会 (委員)

NGO・JICA 評価小委員会 (委員)

NGO - 労働組合国際協働フォーラム (委員)

中央共同募金会企画・推進委員会 (委員)

株式会社電通 NPO 広報力向上委員会 (委員)

## ■ 会員・寄付者分布

| 都道府県名 | 会員   | 寄付者  |       |      |      |
|-------|------|------|-------|------|------|
| 北海道   | 77   | 123  | 滋賀県   | 11   | 23   |
| 北海道計  | 77   | 123  | 京都府   | 50   | 78   |
| 岩手    | 5    | 23   | 大阪府   | 112  | 171  |
| 青森    | 11   | 15   | 兵庫県   | 47   | 85   |
| 宮城    | 29   | 45   | 奈良県   | 19   | 36   |
| 秋田    | 11   | 14   | 和歌山   | 4    | 9    |
| 山形    | 13   | 16   | 近畿計   | 243  | 402  |
| 福島    | 26   | 39   | 鳥取県   | 3    | 18   |
| 東北計   | 95   | 152  | 島根県   | 4    | 6    |
| 茨城    | 35   | 40   | 岡山県   | 19   | 26   |
| 栃木県   | 36   | 48   | 広島県   | 32   | 55   |
| 群馬県   | 23   | 27   | 山口県   | 25   | 46   |
| 埼玉県   | 128  | 159  | 中国計   | 83   | 151  |
| 千葉県   | 148  | 168  | 徳島県   | 12   | 18   |
| 東京都   | 675  | 840  | 香川県   | 5    | 9    |
| 神奈川   | 290  | 429  | 愛媛県   | 20   | 21   |
| 関東計   | 1335 | 1711 | 高知県   | 4    | 11   |
| 山梨県   | 23   | 17   | 四国計   | 41   | 59   |
| 長野県   | 35   | 45   | 福岡県   | 63   | 96   |
| 新潟県   | 30   | 43   | 佐賀県   | 5    | 9    |
| 富山県   | 14   | 9    | 長崎県   | 13   | 29   |
| 石川県   | 25   | 14   | 熊本県   | 8    | 9    |
| 福井県   | 5    | 2    | 大分県   | 17   | 17   |
| 甲信越計  | 132  | 130  | 宮崎県   | 5    | 5    |
| 岐阜県   | 18   | 21   | 鹿児島   | 21   | 19   |
| 静岡県   | 62   | 87   | 沖縄県   | 15   | 21   |
| 愛知県   | 108  | 123  | 九州沖縄計 | 147  | 205  |
| 三重県   | 31   | 45   | 海外    | 33   | 5    |
| 東海計   | 219  | 276  | 海外計   | 33   | 5    |
|       |      |      | 総計    | 2405 | 3214 |

## ■ 執行部一覧（2007年3月31日現在）

○代表理事 大橋正明

○理事

磯野昌子、岩城幸男、牛尾紀美子、坂口和隆、里見駿介、田尻佳史、辻村聖子、長畑誠、野口豊、吉田ユリノ

○監事

斉藤千宏、福澤郁文、丸島俊介

○評議員

伊東弘、池田恵子、内田和夫、遠藤大輔、大脇正昭、金子博、川口善行、川村宏義、萱野智篤、菊池宇光、北河原孝子、下澤嶽、庄野真代、

白土謙二、杉澤経子、竹中千春、田中浩平、筒井のり子、徳木久人、長沢恵美子、永井幸子、中田豊一、西野桂子、子島進、肥下彰男、広瀬麗子、前澤哲爾、山崎みどり、渡辺元

○事務局長 坂口和隆

○事務局スタッフ 秋庭智也、植田貴子、内山智子、小嶋淳史（バングラデシュ駐在員）、勝井裕美、小松豊明（5月ネパールより帰任）、白幡利雄、杉山和明、鈴木悦子（3月退職）、筒井哲朗（次長）、中村怜奈、中森あゆみ、藤岡恵美子（バングラデシュ駐在員）、藤崎文子（ネパール駐在員）、松本芳美（3月入職）

# 2006 年度決算と 2007 年収支予算

## 1. 2006 年度決算

2006 年度の決算に係る会計監査は公認会計士佐藤泰久氏により 5 月 18 日に終了し、理事の業務執行の状況及び財産の状況についての監査は同日 3 名の監事により行われ、当会の会計報告書は 2007 年 3 月 31 日現在の財政状態及び同日をもって終わる期間の収支の状態を適正に表示している旨の報告を受けた。

2006 年度の収支状況は、収入合計 2 億 130 万円（前期比 1,827 万円減）、支出合計 2 億 931 万円（前期比 1,295 万円減）となり結果 801 万円の赤字となった。なお主な内容は以下のとおり。

- ・会費収入は 2,330 万円（前期比 3 万円減）と前期並み。
- ・寄付金収入は 6,470 万円（前期比 1,265 万円増、24.3%増）と大幅に増加。伸びが著しい項目は、一般寄付 2,605 万円（前期比 769 万円増、41.9%増）、ステナイ生活の物品寄付 1,716 万円（前期比 549 万円増、47.0%増）、マンスリー 1,193 万円（前期比 248 万円、26.2%増）。
- ・非自己財源の各収入（助成金、補助金、国際ボランティア貯金、JICA 連携収入）は総じて低調。これら収入合計の予算比は、61.2%、マイナス 2,101 万円となっている。これは、申請が通らなかったもの、決定が年度内になされなかったものなどが主な理由。
- ・クラフトリンク活動は、収入 6,192 万円（前期比 191 万円増、3.2%増）と売上を伸ばしたが、売上原価率が当初見込みより高くなったこと等により、418 万円の赤字となった。
- ・知的貢献活動は、他団体ツアー受入、講師派遣等が当初予定していたより好調に推移したため、収入、支出とも予算額を上回る結果となった（全収入に占める割合 7.4%）。
- ・海外活動費は、予算比 86.6%の支出（予算比：バングラデシュ活動費 89.7%、ネパール活動費 66.3%、インド活動費 92.1%）。ネパール活動費は、既存事業で前期繰越金を差し引いて送金したことや新規事業で諸々の理由により開始時期がずれこんだことなどのため対予算比が下がっている。
- ・国内活動費、広報活動費、本部管理費は、概ね予算額どおりの支出となった。
- ・緊急救援活動は、ネパールの洪水、バングラデシュの寒波に対するものとして、現地団体に各々 50 万円余を

送金した。寄付を募ったものの、総額はまかなえず、差額については前期繰越金から支出した。

- ・みらいファンドは、預託 13 件(290 万円)が満期をむかえ、うち 12 件(280 万円)が再預託となった。期末残高は 2,597 万円（預託分 1,550 万円、寄付分 1,047 万円）。
- ・自己財源率（全収入における会費、寄付、クラフトリンク活動収入、開発教育活動収入、知的貢献活動収入の合計の割合）は前期比 9.2 ポイント増の 83.5%となった。

## 2. 2007 年度収支予算

2007 年度収支予算案は収入合計、支出合計とも 2 億 3,001 万円を計上し、前期予算比 1,382 万円増、収入は前期実績比 2,871 万円増を見込んでいる。収支予算案の主な内容は以下のとおり。

- ・収入項目は、前期実績比で助成金収入 864 万円増、補助金収入 1,842 万円増、ボランティア貯金 794 万円増、クラブ 578 万円増等の増収を見込んでいる。一方減収としては JICA 連携収入 840 万円減、寄付金収入 470 万円減等。
- ・自己財源率は 73.8%。





2006 年度決算 (2006.4.1 ~ 2007.3.31)

2007 年度収支予算 (2007.4.1 ~ 2008.3.31)

## 特定非営利活動に係る事業会計収支計算書

(単位: 円)

| 科 目              | 2006 年度予算   | 2006 年度決算   |             |             | 2007 年度予算   |
|------------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
|                  |             | 本 体         | 緊急救援        | 合 計         |             |
| I . 収入の部         |             |             |             |             |             |
| 会費収入             | 23,500,000  | 23,299,300  |             | 23,299,300  | 23,500,000  |
| 寄付金収入            | 57,900,000  | 64,702,381  |             | 64,702,381  | 60,000,000  |
| 緊急救援収入           | 0           |             | 263,433     | 263,433     | -           |
| 助成金収入            | 17,100,000  | 9,603,213   |             | 9,603,213   | 18,242,000  |
| 補助金収入            | 7,400,000   | 1,384,973   |             | 1,384,973   | 19,800,000  |
| 国際ボランティア貯金       | 4,000,000   | 2,566,553   |             | 2,566,553   | 11,000,000  |
| JICA 連携収入        | 25,700,000  | 19,631,627  |             | 19,631,627  | 11,230,000  |
| クラフトリンク活動収入      | 64,000,000  | 61,916,716  |             | 61,916,716  | 67,700,000  |
| 開発教育活動収入         | 4,130,000   | 3,070,344   |             | 3,070,344   | 4,145,000   |
| スタディツアー          | 2,300,000   | 1,070,744   |             | 1,070,744   | 1,565,000   |
| ユースフォーラム         | 500,000     | 1,032,460   |             | 1,032,460   | 1,000,000   |
| キャラバン            | 1,000,000   | 551,240     |             | 551,240     | 1,200,000   |
| 開発教育教材           | 150,000     | 164,380     |             | 164,380     | 150,000     |
| 入門講座等            | 180,000     | 251,520     |             | 251,520     | 230,000     |
| 35 周年事業収入        | 0           |             |             | 0           | 457,000     |
| 知的貢献活動収入         | 12,400,000  | 14,819,675  |             | 14,819,675  | 13,900,000  |
| 雑収入              | 55,000      | 42,073      |             | 42,073      | 36,000      |
| 当期収入合計 (A)       | 216,185,000 | 201,036,855 | 263,433     | 201,300,288 | 230,010,000 |
| 前期繰越収支差額         | 73,454,925  | 20,276,364  | 53,178,561  | 73,454,925  | 65,443,698  |
| 収入合計 (B)         | 289,639,925 | 221,313,219 | 53,441,994  | 274,755,213 | 295,453,698 |
| II . 支出の部        |             |             |             | 0           |             |
| 海外活動費            | 88,597,000  | 76,757,657  |             | 76,757,657  | 97,800,000  |
| バングラデシュ活動費       | 54,953,000  | 49,276,640  |             | 49,276,640  | 56,331,000  |
| ネパール活動費          | 19,186,000  | 12,715,855  |             | 12,715,855  | 23,623,000  |
| インド活動費           | 1,570,000   | 1,445,831   |             | 1,445,831   | 2,519,000   |
| 海外活動管理費          | 12,888,000  | 13,319,331  |             | 13,319,331  | 15,327,000  |
| クラフトリンク活動費       | 64,000,000  | 66,102,473  |             | 66,102,473  | 67,700,000  |
| 売上原価             | 20,946,000  | 22,872,969  |             | 22,872,969  | 24,190,000  |
| 販売費              | 12,292,000  | 13,480,272  |             | 13,480,272  | 13,712,000  |
| 一般管理費            | 30,762,000  | 29,749,232  |             | 29,749,232  | 29,798,000  |
| 国内活動費            | 21,216,000  | 19,624,406  |             | 19,624,406  | 22,037,000  |
| 開発教育活動費          | 4,708,000   | 3,931,150   |             | 3,931,150   | 2,901,000   |
| スタディツアー          | 1,408,000   | 676,401     |             | 676,401     | 881,000     |
| ユースフォーラム         | 500,000     | 811,646     |             | 811,646     | 800,000     |
| キャラバン            | 2,300,000   | 2,171,948   |             | 2,171,948   | 1,000,000   |
| 開発教育教材           | 50,000      | 78,984      |             | 78,984      | 100,000     |
| 入門講座等            | 450,000     | 192,171     |             | 192,171     | 120,000     |
| 地域活動費            | 100,000     | 4,560       |             | 4,560       | 300,000     |
| 35 周年事業費         | -           |             |             | 0           | 827,000     |
| 国内活動管理費          | 16,408,000  | 15,688,696  |             | 15,688,696  | 18,009,000  |
| 広報活動費            | 14,587,000  | 14,604,998  |             | 14,604,998  | 14,922,000  |
| 広報費              | 3,644,000   | 3,635,795   |             | 3,635,795   | 2,932,000   |
| 広報活動管理費          | 10,943,000  | 10,969,203  |             | 10,969,203  | 11,990,000  |
| 本部管理費            | 20,735,000  | 21,536,627  |             | 21,536,627  | 21,661,000  |
| 緊急救援活動費          | 0           |             | 1,386,132   | 1,386,132   | -           |
| 知的貢献活動費          | 7,050,000   | 9,299,222   |             | 9,299,222   | 5,890,000   |
| 当期支出合計 (C)       | 216,185,000 | 207,925,383 | 1,386,132   | 209,311,515 | 230,010,000 |
| 当期収支差額 (A)-(C)   | 0           | △ 6,888,528 | △ 1,122,699 | △ 8,011,227 | 0           |
| 次期繰越収支差額 (B)-(C) | 73,454,925  | 13,387,836  | 52,055,862  | 65,443,698  | 65,443,698  |

## 特定非営利活動に係る事業会計貸借対照表

(2007年3月31日現在)

(単位：円)

| 科 目               | 本 体           | 緊急救援          | みらい        | 合 計            |
|-------------------|---------------|---------------|------------|----------------|
| <b>I 資産の部</b>     |               |               |            |                |
| 1. 流動資産           |               |               |            |                |
| 現金預金              | 9,465,644     | 18,929,042    |            | 28,394,686     |
| 売掛金（注1）           | 8,970,900     |               |            | 8,970,900      |
| 有価証券              |               | 5,359,618     |            | 5,359,618      |
| 商品                | 16,001,495    |               |            | 16,001,495     |
| 貯蔵品               | 4,034,483     |               |            | 4,034,483      |
| 未収金               | 8,873,872     |               |            | 8,873,872      |
| 前払費用              | 329,155       |               |            | 329,155        |
| 前払金               | 1,797,858     |               |            | 1,797,858      |
| 特別会計貸付            | 134           | 27,767,202    |            | ( 27,767,336 ) |
| 2. 固定資産           |               |               |            |                |
| 什器備品              | 30,041        |               |            | 30,041         |
| 電話加入権             | 74,984        |               |            | 74,984         |
| 退職積立預貯金           | 8,450,170     |               |            | 8,450,170      |
| 敷金                | 581,040       |               |            | 581,040        |
| 基本金積立預金           | 609,464       |               |            | 609,464        |
| みらいファンド預金         |               |               | 25,975,000 | 25,975,000     |
| 資産合計              | 59,219,240    | 52,055,862    | 25,975,000 | 109,482,766    |
| <b>II 負債の部</b>    |               |               |            |                |
| 1. 流動負債           |               |               |            |                |
| 買掛金               | 95,033        |               |            | 95,033         |
| 未払金               | 4,852,847     |               |            | 4,852,847      |
| 前受金               | 145,132       |               |            | 145,132        |
| 預り金               | 15,000        |               |            | 15,000         |
| 預り社会保険料           | 547,753       |               |            | 547,753        |
| 預り源泉所得税           | 241,605       |               |            | 241,605        |
| 預り住民税             | 70,400        |               |            | 70,400         |
| 未払消費税             | 340,700       |               |            | 340,700        |
| 賞与引当金             | 2,700,000     |               |            | 2,700,000      |
| 特別会計借入            | 27,767,202    |               | 134        | ( 27,767,336 ) |
| 2. 固定負債           |               |               |            |                |
| みらいファンド預託金        |               |               | 15,500,000 | 15,500,000     |
| 退職給付引当金           | 8,446,268     |               |            | 8,446,268      |
| 負債合計              | 45,221,940    | 0             | 15,500,134 | 32,954,738     |
| <b>III 正味財産の部</b> |               |               |            |                |
| 基本金               | 609,464       |               |            | 609,464        |
| みらいファンド           |               |               | 10,474,866 | 10,474,866     |
| 次期繰越収支差額          | 13,387,836    | 52,055,862    |            | 65,443,698     |
| （うち当期収支差額）        | (△ 6,888,528) | (△ 1,122,699) |            | (△ 8,011,227)  |
| 正味財産合計            | 13,997,300    | 52,055,862    | 10,474,866 | 76,528,028     |
| 負債及び正味財産合計        | 59,219,240    | 52,055,862    | 25,975,000 | 109,482,766    |

(注記事項)

1. 売掛金の貸倒引当金は271,733円である。

# 特定非営利活動に係る事業会計財産目録

(2007年3月31日現在)

(単位：円)

| 科              | 目                  | 金          | 額           |
|----------------|--------------------|------------|-------------|
| <b>I 資産の部</b>  |                    |            |             |
| <b>1. 流動資産</b> |                    |            |             |
| 現金             | 現金手許有高             | 304,121    |             |
| 預貯金            | 郵便貯金 馬場下町郵便局       | 5,770,241  |             |
|                | 郵便振替口座 馬場下町郵便局     | 15,106,823 |             |
|                | 三菱東京 UFJ 銀行 高田馬場支店 | 7,213,426  |             |
|                | 三井住友銀行 高田馬場支店      | 75         |             |
| 売掛金 (注1)       | 手工芸品関連             | 8,970,900  |             |
| 有価証券           | 公社債投信 野村証券株式会社     | 5,359,618  |             |
| 商品             |                    | 16,001,495 |             |
| 貯蔵品            | 切手等                | 4,034,483  |             |
| 未収金            | ブックオフ物流株式会社        | 666,292    |             |
|                | 独立行政法人 国際協力機構      | 4,169,750  |             |
|                | 社団法人 海外運輸協力協会      | 2,200,350  |             |
|                | 東京都                | 677,507    |             |
|                | 財団法人 庭野平和財団        | 300,000    |             |
|                | 株式会社ヒラタオフィス        | 840,000    |             |
|                | その他                | 19,973     |             |
| 前払費用           | 日新火災海上保険株式会社       | 319,497    |             |
|                | ファーストサーバー株式会社      | 9,658      |             |
| 前払金            | シャプランニールタツカ事務所     | 1,497,858  |             |
|                | ローカルジャンクション21      | 300,000    |             |
|                | 流動資産合計             |            | 73,762,067  |
| <b>2. 固定資産</b> |                    |            |             |
| 什器備品           |                    | 30,041     |             |
| 電話加入権          |                    | 74,984     |             |
| 退職積立預貯金        | 定額郵便貯金 馬場下町郵便局     | 2,088,248  |             |
|                | 三菱東京 UFJ 銀行 高田馬場支店 | 6,361,922  |             |
| 敷金             | 財団法人 早稲田奉仕園        | 581,040    |             |
| 基本金積立預金        | 三菱東京 UFJ 銀行 高田馬場支店 | 609,464    |             |
| みらいファンド預金      | 三菱東京 UFJ 銀行 高田馬場支店 | 25,975,000 |             |
|                | 固定資産合計             |            | 35,720,699  |
|                | 資産合計               |            | 109,482,766 |
| <b>II 負債の部</b> |                    |            |             |
| <b>1. 流動負債</b> |                    |            |             |
| 買掛金            | シレイコン              | 95,033     |             |
| 未払金            | 東日本電信電話株式会社        | 25,199     |             |
|                | 財団法人 早稲田奉仕園        | 45,632     |             |
|                | 藤ビルメンテナンス株式会社      | 16,800     |             |
|                | ヤマト運輸株式会社          | 453,925    |             |
|                | 郵便局                | 1,350      |             |
|                | 株式会社デザイン・エフエフ      | 31,500     |             |
|                | ミナト印刷紙工株式会社        | 2,257,500  |             |
|                | 日本テレネット株式会社        | 8,049      |             |
|                | 株式会社セブテーニ          | 561,620    |             |
|                | 楽天株式会社             | 84,707     |             |
|                | 理想科学株式会社           | 31,500     |             |
|                | 佐川急便株式会社           | 93,786     |             |
|                | 日本通運株式会社           | 51,953     |             |
|                | 社会保険事務所            | 1,074,104  |             |
|                | 社会保険新宿健診センター       | 29,500     |             |
|                | 東京労働局              | 81,822     |             |
|                | その他                | 3,900      |             |
| 前受金            | 手工芸品関連             | 94,132     |             |
|                | 商品券                | 51,000     |             |
| 預り金            |                    | 15,000     |             |
| 預り社会保険料        |                    | 547,753    |             |
| 預り源泉所得税        |                    | 241,605    |             |
| 預り住民税          |                    | 70,400     |             |
| 未払消費税          |                    | 340,700    |             |
| 賞与引当金          |                    | 2,700,000  |             |
|                | 流動負債計              |            | 9,008,470   |
| <b>2. 固定負債</b> |                    |            |             |
| みらいファンド預託金     |                    | 15,500,000 |             |
| 退職給付引当金        |                    | 8,446,268  |             |
|                | 固定負債計              |            | 23,946,268  |
|                | 負債合計               |            | 32,954,738  |
|                | 正味財産               |            | 76,528,028  |
|                |                    |            | 109,482,766 |

(注記事項)

1. 売掛金の貸倒引当金は 271,733 円である。

(参考1)

## クラフトリンク活動収支

(単位：千円)

|            | 2005 年度決算 | 2006 年度予算 | 2006 年度決算案 | 2007 年度予算案 |
|------------|-----------|-----------|------------|------------|
| 売上高        | 60,006    | 64,000    | 61,917     | 67,700     |
| 売上原価       | 22,399    | 20,946    | 22,873     | 24,190     |
| 期首商品棚卸高    | 17,354    | 14,159    | 14,159     | 16,001     |
| 当期商品仕入高    | 19,204    | 23,299    | 24,715     | 24,818     |
| 海外仕入       | 18,222    | 22,500    | 23,473     | 24,000     |
| 国内仕入       | 982       | 799       | 1,242      | 818        |
| 期末商品棚卸高    | 14,159    | 16,512    | 16,001     | 16,630     |
| 売上総利益      | 37,608    | 43,054    | 39,044     | 43,510     |
| 販売費及び一般管理費 | 42,090    | 43,054    | 43,230     | 43,510     |
| 販売費        | 16,054    | 12,292    | 13,480     | 13,712     |
| 一般管理費      | 26,036    | 30,762    | 29,749     | 29,798     |
| 営業利益       | △ 4,483   | 0         | △ 4,186    | 0          |
| 営業外収益      | 8         | 0         | 7          | 0          |
| 営業外費用      | 0         | 0         | 0          | 0          |
| 経常利益       | △ 4,475   | 0         | △ 4,179    | 0          |

(参考2)

## みらいファンド残高増減

(単位：千円)

| 区 分        | 期首残高   | 2006 年度の増減 |       | 期末残高   |
|------------|--------|------------|-------|--------|
|            |        | 減          | 増     |        |
| みらいファンド預託金 | 15,600 | 2,900      | 2,800 | 15,500 |
| みらいファンド    | 10,475 | 0          | 0     | 10,475 |
| 合 計        | 26,075 | 2,900      | 2,800 | 25,975 |

(参考3)

## 緊急救援活動収支

(単位：千円)

|              | ネパール洪水 | バングラ寒波 | その他  | 計       |
|--------------|--------|--------|------|---------|
| I. 収入の部      |        |        |      |         |
| 救援募金収入       | 109    | 135    | 19   | 263     |
| 収入計①         | 109    | 135    | 19   | 263     |
| II. 支出の部     |        |        |      |         |
| 1. 直接費       |        |        |      |         |
| 他団体送金        | 545    | 535    | 0    | 1,080   |
| 旅費交通費        | 0      | 0      | 64   | 64      |
| 諸雑費          | 7      | 4      | 1    | 11      |
| 直接費計②        | 551    | 538    | 65   | 1,155   |
| 2. 間接費       |        |        |      |         |
| 事務管理費        | 110    | 108    | 13   | 231     |
| 間接費計③        | 110    | 108    | 13   | 231     |
| 支出計④ (② + ③) | 662    | 646    | 78   | 1,386   |
| 収支差額 (① - ④) | △ 553  | △ 511  | △ 59 | △ 1,123 |

(参考4)

## 収支計算書推移

(単位：千円)

|                      | 2004 年度 | 2005 年度 | 2006 年度 |
|----------------------|---------|---------|---------|
| I . 収入の部             |         |         |         |
| 会費収入                 | 23,213  | 23,324  | 23,299  |
| 寄付金収入                | 42,645  | 52,056  | 64,702  |
| 補助金 / 助成金収入          | 58,152  | 56,403  | 33,186  |
| クラフトリンク活動収入          | 51,925  | 60,006  | 61,917  |
| 開発教育活動収入             | 3,521   | 2,164   | 3,070   |
| 知的貢献活動収入             | 26,529  | 16,764  | 14,820  |
| 緊急救援収入               | 40,076  | 8,229   | 263     |
| 雑収入                  | 946     | 628     | 42      |
| 当期収入合計 (A)           | 247,007 | 219,574 | 201,300 |
| 前期繰越収支差額             | 57,814  | 76,145  | 73,455  |
| 収入合計 (B)             | 304,821 | 295,719 | 274,755 |
| II . 支出の部            |         |         |         |
| 海外活動費                | 82,549  | 82,300  | 76,758  |
| クラフトリンク活動費           | 52,660  | 64,489  | 66,102  |
| 国内活動費                | 33,857  | 30,522  | 19,624  |
| 広報活動費                | -       | 12,431  | 14,605  |
| 本部管理費                | 8,866   | 9,783   | 21,537  |
| 知的貢献活動支出             | 19,117  | 13,629  | 9,299   |
| 緊急救援活動費              | 31,626  | 9,109   | 1,386   |
| 雑損失                  | 0       | 0       | 0       |
| 当期支出合計 (C)           | 228,676 | 222,264 | 209,312 |
| 当期収支差額 (A)-(C)       | 18,331  | △ 2,690 | △ 8,011 |
| 積立金取崩額等 (D)          | 0       | 0       | 0       |
| 次期繰越収支差額 (B)-(C)+(D) | 76,145  | 73,455  | 65,444  |

(参考5)

## 貸借対照表推移

(単位：千円)

|               | 2004 年度 | 2005 年度 | 2006 年度 |
|---------------|---------|---------|---------|
| I 資産の部        |         |         |         |
| 1. 流動資産       | 94,135  | 79,616  | 73,762  |
| うち 商品         | 17,354  | 14,159  | 16,001  |
| 2. 固定資産       | 33,879  | 34,849  | 35,721  |
| 資産合計          | 128,015 | 114,465 | 109,483 |
| II 負債の部       |         |         |         |
| 1. 流動負債       | 18,717  | 7,635   | 9,008   |
| 2. 固定負債       | 22,069  | 22,291  | 23,946  |
| うち みらいファンド預託金 | 16,400  | 15,600  | 15,500  |
| 負債合計          | 40,786  | 29,926  | 32,955  |
| III 正味財産の部    |         |         |         |
| 基本金           | 609     | 609     | 609     |
| みらいファンド       | 10,475  | 10,475  | 10,475  |
| 次期繰越収支差額      | 76,145  | 73,455  | 65,444  |
| 正味財産合計        | 87,229  | 84,539  | 76,528  |
| 負債及び正味財産合計    | 128,015 | 114,465 | 109,483 |

# 2007 年度役員一覧

---

**代表理事** 中田豊一（参加型開発研究所 代表）

**理事** 磯野昌子（かながわ開発教育センター 理事）  
岩城幸男（ボランティア）  
牛尾紀美子（ボランティア／シャプラニール劇団）  
大橋正明（恵泉女学園大学 教員）  
坂口和隆（シャプラニール 事務局長）  
里見駿介（財団法人海外職業訓練協会（OVTA）国際アドバイザー）  
田尻佳史（特定非営利活動法人日本 NPO センター理事・事務局長）  
辻村聖子（元浦安市文化国際課長）  
長畑誠（いりあい・よりあい・まなびあいネットワーク）  
野口豊（シャプラニール ユースチーム代表）

**監事** 雨森孝悦（日本福祉大学教授・国際センター長）  
梅沢良雄（弁護士）  
福澤郁文（株式会社デザイン FF 代表／グラフィックデザイナー）

**評議員** 荒木美奈子（お茶の水大学教員）  
池田恵子（静岡大学 教員）  
遠藤大輔（ユース・チームボランティア）  
金子博（早稲田大学 キャリアセンター長）  
川村宏義（あおもり開発教育研究会）  
萱野智篤（北星学園大学 教員）  
北河原孝子（シャプラニール奈良連絡会 代表）  
下澤嶽（ジユマ・ネット 代表）  
庄野真代（歌手、特定非営利活動法人国境なき楽団 代表）  
ジュエル・M.Q.（シャプラニール劇団）  
白土謙二（株式会社電通 プランニング・ディレクター）  
杉澤経子（東京外国語大学多言語・多文化教育研究センター プログラムコーディネーター）  
鈴木隆二（ぐらする一つ 代表）  
竹中千春（明治学院大学 国際学部教授）  
田中浩平（財団法人千葉 YMCA 柏センター運営委員）  
東田芳治（ボランティア）  
徳木久人（ボランティア）  
永井幸子（UI ゼンセン同盟）  
中本かほる（財団法人福岡 YWCA 常務理事）  
長沢恵美子（経済団体職員）  
西野桂子（特定非営利活動法人ジーエルエム・インスティテュート 代表理事）  
子島進（東洋大学 国際地域学部准教授）  
広瀬麗子（ホールアース自然学校）  
肥下彰男（シャプラニール南大阪前代表、大阪府立高校教員、地域の国際交流を進める南河内の会運営委員）  
前澤哲爾（全国フィルム・コミッション連絡協議会専務理事）  
山崎みどり（全国友の会中央部中央委員）  
吉田ユリノ（シャプラニールとちぎ架け橋の会 代表）

# 主な掲載記事



チルチンびと 38号 2006年9月 Scramble (情報コーナー)

東京都  
**不用品のリサイクル&リユースで、  
 ストリートチルドレンの支援を**

■特定非営利活動法人シャプランール  
 市民による海外協力の会(新設版)

●特定非営利活動法人シャプランール  
 代表 山本 浩二 東京都港区西早稲田2-1-1  
 TEL. 03-5222-7822 FAX. 03-5222-4982  
 E-mail: shaplaner@shaplaner.org  
 \* http://www.shaplaner.org/subsite/eng.htm

「不用品のリサイクル&リユース」は、日本各地から集められた不用品を、海外のストリートチルドレンに届ける活動です。この活動は、不用品のリサイクルとリユースを通じて、環境保護と社会貢献を同時に実現しています。また、この活動を通じて、不用品の回収・分別・処理の仕組みを整え、環境問題の解決に貢献しています。

●活動の目的  
 不用品のリサイクルとリユースを通じて、環境保護と社会貢献を同時に実現すること。  
 ●活動の仕組み  
 日本各地から集められた不用品を、海外のストリートチルドレンに届ける活動です。この活動は、不用品のリサイクルとリユースを通じて、環境保護と社会貢献を同時に実現しています。

●活動の成果  
 不用品のリサイクルとリユースを通じて、環境保護と社会貢献を同時に実現すること。

●活動の今後の展望  
 不用品のリサイクルとリユースを通じて、環境保護と社会貢献を同時に実現すること。

**書き損じ年賀状 捨てないで**

ストリートチルドレン支援  
**NPOが募集**

書き損じ年賀状を捨てずに、ストリートチルドレンの支援に役立ててください。書き損じ年賀状は、紙資源の節約と、海外の子どもたちに届けることができます。1枚交換でミルク9杯分を支援できます。

●活動の目的  
 書き損じ年賀状を回収し、海外の子どもたちに届ける活動です。この活動は、紙資源の節約と、海外の子どもたちの支援を同時に実現しています。

●活動の仕組み  
 書き損じ年賀状を回収し、海外の子どもたちに届ける活動です。この活動は、紙資源の節約と、海外の子どもたちの支援を同時に実現しています。

●活動の成果  
 書き損じ年賀状を回収し、海外の子どもたちに届ける活動です。この活動は、紙資源の節約と、海外の子どもたちの支援を同時に実現しています。

●活動の今後の展望  
 書き損じ年賀状を回収し、海外の子どもたちに届ける活動です。この活動は、紙資源の節約と、海外の子どもたちの支援を同時に実現しています。

読売新聞(都内版) 2007年1月7日

**途上国商品買って応援**

**フェアトレード 注目高まる**

**衣料品・雑貨から菓子まで**

**通販サイト相次ぎ登場**

フェアトレード商品が注目を集めています。途上国の生産者を支援し、持続可能な生産を実現するための取り組みです。衣料品、雑貨、菓子など、さまざまな商品がフェアトレードで販売されています。

●フェアトレードの意義  
 途上国の生産者を支援し、持続可能な生産を実現するための取り組みです。衣料品、雑貨、菓子など、さまざまな商品がフェアトレードで販売されています。

●フェアトレードの商品  
 衣料品、雑貨、菓子など、さまざまな商品がフェアトレードで販売されています。

●フェアトレードの購入方法  
 通販サイト、店舗などで購入することができます。

●フェアトレードの今後の展望  
 フェアトレード商品の注目がますます高まると見られています。

日本経済新聞(夕刊) 2007年2月1日

2006年度  
 新聞・雑誌掲載回数：81回  
 (新聞48回、雑誌33回)

# シャプラニール用語集

## ■海外活動

### 家事使用人

バングラデシュはもちろんのこと、南アジアでは中産階級以上の多くの家庭が、いわゆる「お手伝いさん」を雇用している。人件費が安いという理由で子どもを使う例が多く、シャプラニールでは職業としての家政婦と区別するためにこの表現を用いている。

### 家政婦

本人の意志とは関係なく働かされている子どもの家事使用人と区別するために用いている表現。シャプラニールでは現在、近郊からコルカタに通って家政婦として働く成人女性への支援活動を行っている。

### 寡婦

夫を事故や病気で亡くした女性に加え、さまざまな理由で夫から一方的に離婚された女性のことを、便宜的に指す。女性に対する社会的な制約が多く、就業機会も非常に限られているバングラデシュの社会において、子どものいる、いないに関わらず厳しい生活状況におかれている場合が多い。

### 最貧困層

貧困層の中でも経済的に最も貧しく、厳しい生活状況にある人々のこと。一口に貧困層といっても、その経済指標の取り方によっては膨大な数の人々を示すことになるため、相対的な表現として用いる。

### ストリートチルドレン

都市部の路上を生活の基盤とする子どもたちのこと。狭義には親元を離れ、家をもたずに生活する子どもを指すが、広義には家族ともにスラムに住みながら路上で生計を得ている子どもを含めて用いる。

### 先住民

ある地域において、先に住みついていた人々のこと。例えばネパールの首都カトマンズでは、チベット・ビルマ語系のネワール語を母語とするネワール人がそうであり、SOUPをパートナーとする活動の支援対象となっている。

### チョール

ベンガル語で中洲のこと。雨期になると消滅してしまうものから、100年以上も前から存在し、学校や市場が存在するものまで、様々なものがある。チョールに住む人々の生活は、一般の地域のそれよりも厳しいとされる。

### 働く子どもたち

狭義のストリートチルドレンと区別するため、親元から通い、または住み込みで働いている子どもたちのことを指して用いている。ネパールでは都市部で、またバングラデシュでは農村部、都市部ともにこうした子どもへの支援活動に取り組んでいる。

### パートナー団体

シャプラニールと理念や価値観を共有し、ともに活動するローカル NGO のこと。地域や課題によって多くの組織がシャプラニールとパートナーシップを結んでおり、現場での活動実施を担っている。

### 被差別グループ

職業や就学、結婚など、さまざまな社会制度の中で有形無形の差別を受ける人々やその属性を指す。インドやネパールでは、カースト制に起因するものも多く見られる。必ずしも経済的に貧困であるとは限らない。

### マイクロクレジット

貧困層を対象に、貧困緩和を目的として行われる少額の無担保融資のこと。バングラデシュのグラミン銀行によって開発されたモデルが世界的に知られており、シャプラニールも 1980 年代後半から活動の一部として取り組んでいる。

### マオイスト

共産党毛沢東主義派と呼ばれるグループや政党に属する人を指す。ネパールでは 1996 年に王政打破を目指した活動を開始し、農村貧困層を広く巻き込みながら全国規模の武装闘争活動を展開してきた。武装解除を条件にネパール暫定政権への参加も果たしている。

## ■クラフトリンク

### クラフトリンク南風

2003 年よりフェアトレード部門の呼称として「クラフトリンク」を使用している。これにはクラフト(手工芸品)を通して人々がつながり(リンク)、皆が共生できる社会づくりを目指すという思想が込められている。また、クラフトリンクが扱う製品を南(南アジア)の風(人々、生活、文化、活動)を伝える媒体として捉え、ブランド名を「南風(なんぷう)」とした。



## ジュート

バングラデシュが世界に誇る特産品。他の植物と比べて5～6倍の二酸化炭素を吸収することから、地球温暖化を抑制する働きがあると注目されている。また土に埋めるとバクテリアによって完全に分解される環境にやさしい天然素材。日本語では黄麻（おうま）。

## ノクシカタ

「ノクシ」はデザイン、「カタ」は布という意味。古くなったサリーなどの布を何層かに重ねて刺しゅうを施し、肌掛けなどとして再利用する刺しゅうの技術が母から娘へ受け継がれてきた。今では女性の生活向上のためにこの技術を活かした商品作りが行われている。

## 阪神タイガースロゴ入りバッグ

20年後に地球が持続可能な状態になっていることを目的として立ち上がった「2025 プロジェクト」が企画する、南アジアのトラ保護を訴えるキャンペーンに賛同し、シャプラニールが販売するバッグ。トラ保護ということで、阪神タイガースからの協力を得ている。

## フェアトレードブーム

日本全国でフェアトレード（公正貿易）への関心が高まりつつある。シャプラニールでも学生からの問い合わせや、フェアトレードショップ・雑貨店など店舗での取り扱いが増えている。

## 楽天市場

日本最大級のインターネット上の通信販売ショッピングモール。契約企業は約5万8千を数え、シャプラニールは2003年から「クラフトリンク南風」の店舗名で出店し、広く一般市民にフェアトレードについて紹介している。

## レジバッグ

バングラデシュの特産品であるジュート（黄麻）で作られたお買い物用バッグ。レジかごの大きさに合うように作られており、レジを通した商品をそこへ入れればそのまま持ち替えることが出来る便利さが受け、2005年度の発売開始以来5千個以上の販売を記録している。

## ■国内活動

### CSR（Corporate Social Responsibility）

企業の社会的責任。持続可能な社会を目指すためには、行政、民間、非営利団体のみならず、企業も経済だけで

なく社会や環境などの要素にも責任を持つべきであるという考えのもとに成立した概念。コンプライアンス（法令遵守）、環境活動やNPOへの協力などもCSR活動の一環として捉えられ、シャプラニールの「ステナイ生活」やフェアトレードへの協力も増えている。

## アースガーデン／アースデイ

東京の代々木公園等で年4回開かれるイベント。コンサートといった企画の他、環境、からだに優しい商品、フェアトレード商品の販売が行われ、毎回数万～10万人が訪れる。

## ap bank fes

音楽家の坂本龍一、櫻井和寿らが設立した、環境に取り組む活動に融資をする非営利組織 apbank（エーピーバンク）主催の音楽野外イベント。2006年度は静岡県掛川市のつま恋で7月15～17日に開催され、NGOの活動紹介や環境に配慮した商品の販売も行われシャプラニールも出展した。

## ブログ

インターネット上で日記や覚え書き、論評などを記すウェブサイトの総称。シャプラニールでは、2006年度より事務局長のブログ、駐在員のブログ、スタッフのブログを開始し、現地の生活やプロジェクトの最新報告、スタッフの日常など会報では伝えきれない情報を配信している。

## ■組織

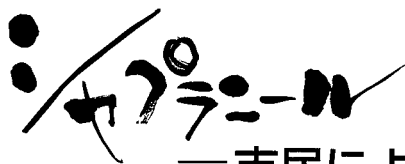
### 商標登録

「NPO」「ボランティア」を商標登録するという企業に対して、ボランティア団体やNPOが異議を申し立てて取り消させた出来事があったことを踏まえ、「シャプラニール」と「ステナイ生活」という団体の財産を守るために登録申請を行った。

### 認定NPO法人

全国で3万団体を超えるNPO法人のうち、総収入に占める寄付金の割合などの要件を満たしたとして税務当局が認定したもの。認定を受けている団体は少なく、現在は60団体が認定されている。認定NPO法人に対する一定の範囲内の寄付は、税務申告の際所得控除の対象とすることができる。

特定非営利活動法人



＝市民による海外協力の会

◆東京事務所（火曜日から土曜日 10:00～18:00 月曜・日曜祭日定休）

169-8611 東京都新宿区西早稲田 2-3-1 早稲田奉仕園内

TEL 03-3202-7863 FAX 03-3202-4593

E-mail [info@shaplaneer.org](mailto:info@shaplaneer.org) Web site <http://www.shaplaneer.org/>

◆ダッカ事務所

9/19 Iqbal Road, Block-A, Mohammadpur, Dhaka-1207, Bangladesh, G.P.O BOX 332

◆カトマンズ事務所

Kupondole, Lalitpur, Nepal, P.O.Box23884